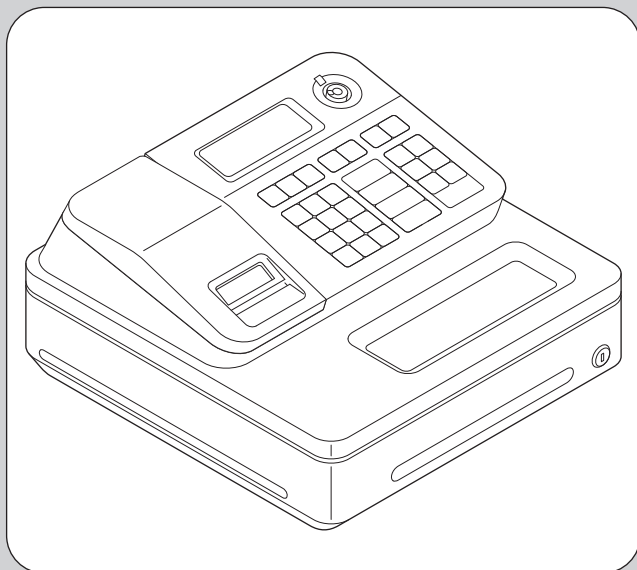


取扱説明書

カシオ電子レジスター
SR-G3-EX

このたびは、カシオ電子レジスターをご採用いただき、まことにありがとうございます。ご使用になる前に、取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。また、ご使用中もお手元に置いてご活用ください。

売上の確認や設定は
スマートフォンでもっと便利に！

アプリはこちら



<https://web.casio.com/ecr/app/>

初めてレジスターをお使いになるときは、**設置手順** (16～23ページ) と
初めてレジをお使いになる方へ (27～30ページ) をお読みください。

特長

- 登録番号の印字や発行したレシートの写しとして、電子ジャーナルの印字機能などがあります。インボイスに必要な設定をして、運用を確認のうえお使いください。

「お使いになる前に」(16～25ページ)

「返品処理をする」(38ページ)

「閉店後の操作～精算」(39～40ページ)

「商品名の設定」(65ページ)

「事業者登録番号の設定」
(73、76ページ)

2023年10月～ インボイス制度

- スマートフォン用アプリを使うことで、レジとスマートフォンをBluetooth®で接続し、レジの設定や売上確認などをスマートフォンで簡単に行えるようになります。

くわしくは、右記のQRコードを読み込む、または下記URLをご確認ください。

<https://web.casio.com/ecr/app/>



- 税率は変更することができます。予約機能を使うと、指定した日から自動で税率が更新されます。

「課税方式について」(25ページ)

「税率改定の予約機能を設定する」
(58ページ)

10% → ○%

8% → △%

- 抗菌処理されたキーボードで清潔に保つことが可能です。





もくじ


ご使用前に

安全上のご注意	5
使用上のご注意	8
お願い (必ず守ってください)	9
各部の名称と働き	11
各部の名称	11
モードスイッチとモード鍵	12
キーボード	13
本体表示窓／客用表示窓	15
お使いになる前に	16
設置手順	16
レシートの印字	24
課税方式について	25
レシートとジャーナルの説明	26
スマートフォン用アプリについて	26
落下防止用フックの取り付け	26
初めてレジをお使いになる方へ	27
電卓の操作と何がちがうの？	27
よく使うキーは何？	29
精算と点検について	30
1日の仕事の流れ	31

使い方

基本的な操作	32
商品1つを売上登録する	32
商品2品以上を売上登録する	33
同じ商品を複数売上登録する (乗算登録)	33
同じ商品を複数売上登録する (リピート登録)	34
両替などでドロアーを開ける	34
レシート・ジャーナルの見方	35
キー操作をまちがえたとき	36
部門・取引キーを押す前の訂正 (置数訂正 )	36
部門キーを押した直後の訂正 (直前訂正 )	37
返品処理をする	38
売り上げた商品の返品処理をする	38
閉店後の操作～精算	39
1日の取引内容と売上を打ち出す	39

便利な使い方


部門キーの便利な使い方	41
部門について	41
単価設定した部門キーを用いて 商品を登録する	42
値引きをする	43
合計金額から  で値引きをする	43
割引きをする	44
商品ごとに割引きをする	44
合計金額から割引きをする	44
番号を印字する／日時の表示	45
伝票番号や商品コードを印字する	45
時刻と日付を表示する	45
入金処理と出金処理	46
売上とは関係ない現金を ドロアーに入れる	46
売上以外の現金をドロアーから出す	46
商品券の売上	47
商品券で売り上げる	47
売上の点検	48
現時点での売上合計と現金在高を 確認する	48
日計明細を確認する	48
部分累計を確認する	48
売上の精算	49
1日の売上を精算する (日計明細の精算)	49
部分累計の集計内容を精算する	49
電子ジャーナルを精算する (印字する)	49
電卓機能の使い方	50
税抜き金額・税額を計算する	50
 を使って計算する	51
単価を計算する	51
呼び出し機能を使って計算する	52


設定の仕方

時刻と日付の設定	53
時刻を設定する	53
日付を設定する	53
単価・割引き率の設定	54
商品単価を部門に設定する	54




安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。製品を安全に正しくお使いいただき、人々への危害や機器の損傷を未然に防ぐため、以下の記号を使って注意を喚起しています。

 **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が発生する恐れがある内容を示しています。

本書中の「絵表示」の意味は以下のとおりです。

	△記号は「気をつけるべきこと = 注意」を意味しています。左の例は「手を挟まれないよう注意」です。
	⊘記号は「してはいけないこと = 禁止」を意味しています。左の例は「分解禁止」です。
	●記号は「しなければならないこと = 指示」を意味しています。左の例は「電源プラグをコンセントから抜くこと」です。なお、「絵に表わしにくい指示」は①で表わします。

警告

電池について



- ・電池から漏れた液が皮膚や衣服についたら、きれいな水で洗い流してください。
- ・目に入った場合は、失明などの恐れがあります。洗い流した後、すぐに医師の診察を受けてください。

電源コードや電源プラグについて



- ・電源コードは、ねじったり、引っぱったり、加熱したり、加工したり、傷つけたり、無理に曲げたり、上に重い物を載せないでください。電源コードが破損して、火災や感電の原因になります。また、本製品で挟み込むような配線はしないでください。



- ・電源コードを巻いたり、束ねたりしたまま使用しないでください。
- ・電源コードが傷んだら（芯線の露出／断線など）、ご購入の販売店またはカシオレジスターお客様相談センターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。



- ・ぬれた手で電源プラグに触れないでください。感電のおそれがあります。
- ・雷が鳴り始めたら、電源コンセントに接続されている機器に触れないでください。感電の原因となります。

分解・改造しないでください



本製品を分解・改造しないでください。内部には電圧の高い部分や鋭くとがった部分があります。触って感電したり、ケガをする恐れがあります。また、故障や火災の原因となります。

安全上のご注意

⚠ 警告

内部に異物や水などを入れないでください

- ⊘ 本製品の開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などの異物を差し込んだり、落とさないでください。また、花瓶の水やコーヒー・ジュースなどの液体を本製品の内部にこぼさないでください。火災や感電の原因となります。
- 🔌 異物や水などが本製品の内部に入ったときは、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入の販売店またはカシオレジスターお客様相談センターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

異常状態で使用しないでください

- 🔌 発熱、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜き、ご購入の販売店またはカシオレジスターお客様相談センターにご連絡ください。

電源・電圧について

- ⊘ 表示された電源電圧（交流 100V）以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因となります。
- ・電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。

本製品を落としたり、破損したときは

- 🔌 本製品を落としたり、キャビネットを破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはカシオレジスターお客様相談センターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となる可能性があります。

設置場所について

- ⊘ ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落下してケガの原因となります。
- ・湿気やホコリの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因となります。
- ・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる場所に置かないでください。火災や感電の原因となります。
- ・ストーブやヒーターなどの発熱器具の近くや、温風が直接当たる場所には置かないでください。火災の原因になります。
- ・本製品は 0°C～40°C の環境内でご使用ください。
- ! 電源コンセントは、本機の電源コードが簡単に届き、また電源プラグの抜き差しが容易である場所を選んでください。
- ・電源プラグの周りに物を置かないでください。
- ・電源コードを製品や壁や棚の間にはさみ込んだり、電源コードの上に重い物を載せないでください。

本製品の上には物を置かないでください

- ⊘ 花瓶や植木鉢、コップや液体の入った容器、金属の物などを置かないでください。
- ・タバコなど高温の物を置かないでください。
- ・重い物を置かないでください。

安全上のご注意

⚠ 警告

表示画面について

- ⊘ 液晶表示を強く押したり、強い衝撃を与えないでください。液晶表示のガラスが割れてケガの原因となることがあります。
- 液晶表示が割れたときは、表示内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症の原因となることがあります。
- 口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
- 目に入ったり、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低 15 分以上洗浄した後、医師に相談してください。

モード鍵とドロアー鍵

- ❗ モード鍵とドロアー鍵は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。
- 誤って飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

⚠ 注意

移動する場合は

- 🔌 本製品の移動前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源コードを引っばると、コードが傷つき、火災や感電の原因となります。電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。

電源プラグはいつもきれいに

- ❗ 電源プラグは年一回以上コンセントから抜いてプラグの刃と刃の周辺部分を乾いた布で掃除してください。ホコリがたまると、火災の原因になります。
- ⊘ 電源プラグの清掃には、洗剤を使用しないでください。

長期間使用しないときは

- 🔌 連休などで長期間本製品を使用しないときは、安全のために電源プラグをコンセントから抜いてください。

ドロアー（引き出し）の注意

- ❗ ドロアー（引き出し）を開くときは、お子様の顔などに当たらないよう注意してください。
- ドロアー（引き出し）が開いているときに、ドロアーに寄りかからないでください。落下してケガの原因となります。

お手入れについて

- 🔌 お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

安全上のご注意／使用上のご注意

⚠ 注意

消耗品交換時の注意



手を挟まれないよう注意



指のケガに注意



- ・ 記録紙の交換時に、プリンターのギアに髪の毛やスカーフなどが巻き込まれないよう注意してください。
- ・ 記録紙の交換時に手を挟まれないよう注意してください。また、指のケガにも注意してください。
- ・ プリンターのヘッド部分には触れないでください。高温になるためケガ、やけどの原因となります。

電池について



破裂による火災・けが、液漏れによる周囲の汚損を防ぐため、次のことは必ず守ってください。

- ・ 分解しない、ショートさせない。
 - ・ 充電しない。
 - ・ 新しい電池と古い電池を混ぜて使わない。
 - ・ 種類の違う電池を混ぜて使わない。
 - ・ 加熱しない、火の中に投入しない。
 - ・ 本機で指定されている電池以外は使わない。
 - ・ 極性（+と-の向き）に注意して正しく入れる。
 - ・ 長時間使用しないときは、本機から電池を取り出しておく。
 - ・ 電池が消耗した場合は、速やかに電池を交換する。
 - ・ 電池が液漏れしたまま使用しない。
- ⊘ 被覆のはがれた電池は使わない



無線通信機能の取り扱いについて

⚠ 警告

他の電子機器への干渉について（無線機能を使用する場合）



病院内や医療用電気機器のある場所では各医療機関の指示にしたがってください。手術室、集中治療室、冠状動脈疾患監視病室や、特に医療機関側が本製品の使用を禁止した区域では、本製品の無線通信機能をOFFにするか電源をOFFにしてください。

使用上のご注意

⚠ 注意

他の電子機器への干渉について（無線機能を使用する場合）



本製品は小電力データ通信システムの無線装置を内蔵しています。使用している周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

- ・使用前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- ・本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の使用を停止してください。
- ・その他、電波干渉が発生した場合などお困りのときは、ご購入の販売店またはカシオレジスターお客様相談センターにご連絡ください。

2.4 X X 1

この無線機は 2.4GHz帯を使用します。変調方式は、DS-SS/FH-SS/OFDM 方式、DS-FH、FH-OFDM 複合方式以外の“その他の方式”です。また、想定される与干渉距離は約10mです。

お願い（必ず守ってください）

- ・温度が高くなる所や、水がかかる所には置かないでください。
- ・ぬれた手で操作するお店では、防水カバーをお買い求めください。
- ・清掃にシンナー、ベンジン、化粧品などの揮発性の薬剤を使用しないでください。本製品が汚れたときは、乾いたやわらかい布で拭いてください。布で強く擦ると表示部に傷がつく場合があります。
- ・1日の終わりには、精算をしてドロアー（引き出し）内をカラにし、開けたままでお帰りください。ドロアーは金庫ではありません。

設置場所

高温になる場所、ホコリの多い場所、油煙や水がかかる場所に置かないでください。以下の場所では絶対に保管・放置しないでください。メモリ内容が消えるなど本装置の故障、ケースの変形などの原因となります。

- ・ 0°C以下の低温下
- ・ 夏季の車内
- ・ 冷暖房装置の近く
- ・ 直射日光の当たる場所
- ・ その他 40°C以上の高温になる場所

以下の場所では本製品の使用を避けてください。

- ・ 屋外
- ・ レンジ、電熱器などの高温になる機器の近く
- ・ 水気や水蒸気のかかる可能性のある場所
- ・ 温度、湿度などの環境の変化が激しい場所
- ・ 腐食性のガスや塩分の発生する場所
- ・ 塵やホコリが発生する場所
- ・ 振動のある場所
- ・ 静電気が発生しやすい場所

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

使用上のご注意

あらかじめご承知いただきたいこと

- ・ 本書の内容は、製品の改良や仕様変更などにより予告なく変更することがあります。
- ・ 本製品の使用、故障・修理などによりデータが消えたり、変化に起因して生じた損害、遺失利益、第三者からのいかなる請求につきましては、弊社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・ 本書の著作権、および本書に記載のソフトウェアに関するすべての権利は、カシオ計算機株式会社が所有しています。弊社の書面による同意なしに本書およびソフトウェアの一部または全部を無断転載することを禁止します。
- ・ 本書の内容は万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- ・ 本書に記載の画面、レシート、ジャーナル、領収書や本体のイラストは、実際の製品とは異なることがあります。キー、アイコンは簡略化して記載しています。
- ・ ウェルドラインについて
- ・ 外観にスジのように見える箇所がありますが、これは樹脂成形上の“ウェルドライン”と呼ばれるもので、ヒビやキズではありません。ご使用にはまったく支障ありません。
- ・ 設置面の材質によっては本製品のゴム足が、設置した台などの表面を変色または変質させることがあります。

電波障害自主規制

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用すると、電波障害を引き起こすことがあります。この場合には、使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

高調波電流規格

この装置は、「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。

商標登録について



Bluetooth® Bluetooth®は Bluetooth SIG, Inc., U.S.A が所有する登録商標で、カシオ計算機はライセンスを取得しています。

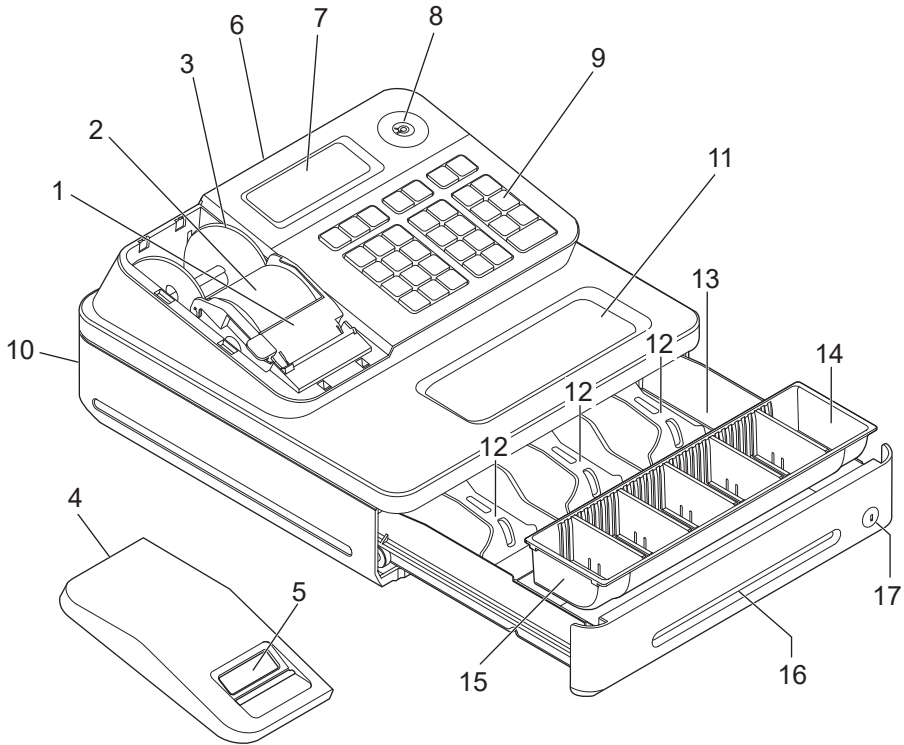
QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

iPhone、App Store は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

Android および Google Play™ は、Google LLC の商標または登録商標です。

各部の名称と働き

各部の名称



- | | |
|--|---|
| 1 紙押さえ
確実にロックされるまで、きちんと閉じてください。完全に閉じていないとレジスターが動きません。 | 7 本体表示窓 |
| 2 ロールペーパー
金額や操作内容を印字する用紙です。 | 8 モードスイッチ |
| 3 ジャーナル巻き取りホルダー
印字された用紙を「営業記録」としてお店に保管しておくときに使用します。 | 9 キーボード |
| 4 プリンターカバー
プリンターを覆うためのカバーです。 | 10 ドロアー (引き出し) |
| 5 印字確認窓
ジャーナルとしてご使用のとき、この窓から操作内容を確認できます。 | 11 多目的トレー |
| 6 客用表示窓
お客様用の表示です。 | 12 札押さえ |
| | 13 紙幣入れ (3 箇所) |
| | 14 硬貨入れ (6 箇所) |
| | 15 コイントレー
仕切り板は、取り外して位置を移動できます。 |
| | 16 ドロアースリット部
小切手や商品券をドロアーを開けずに入ることができます。 |
| | 17 ドロアーロック錠
ドロアー鍵でロックできます。 |

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

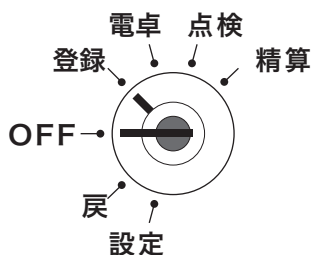
こんなときは

各部の名称と働き

モードスイッチとモード鍵

付属のモード鍵で働きのちがう7つのモードを切り替えます。モード鍵を抜き差しできる位置は「登録」と「OFF」の2箇所だけです。

モードスイッチ



- 精算…… 売上の精算をする
- 点検…… 売上の点検をする
- 電卓…… 電卓計算をする
- 登録…… 売上の登録をする
- OFF …… レジを使用しない
- 戻 …… 返品(戻し)をする
- 設定…… お店に合わせたいいろいろな設定をする

モード鍵



本書での記載例



・本書では、各操作手順のモードスイッチの位置を、絵表示で掲載しています。

ポイント 上の例は、左上から順にモードスイッチの位置を「登録」、「電卓」、「点検」、「精算」、「OFF」、「戻」、「設定」にしてから操作する必要があることを意味しています。

各部の名称と働き

キーボード



紙送り

紙送りキー

印字用紙を送ります。

\times /日時

乗算/日時キー

乗算登録、または時刻・日付を表示するときに使います。

AC C

クリアキー

入力をまちがったときに使います。電卓機能時は「オールクリア」（ゴハサン）します。

0 ~ 9 00 .

置数キー

数値を入力します。

訂正

訂正キー

直前訂正をするときに使います。

—

マイナスキー

値引き時に使います。

+ 1

- 2

\times 3

\div 4

部門キー

商品登録時に使います。電卓機能時「+」「-」「 \times 」「 \div 」は計算命令キーです。

%

割引キー

割引時に使います。

強制解除

強制解除キー

2回続けて押すとエラーを強制的に解除します。「登録」の操作中に強制解除をすると、現金売上として処理されます。

入金
CAL

入金キー

入金時に使います。電卓機能のときは、呼び出しキーになります。

出金

出金キー

出金時に使います。

#/替

番号印字/両替キー

両替時（ドロアーを開けると）、または番号印字をするときに使います。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

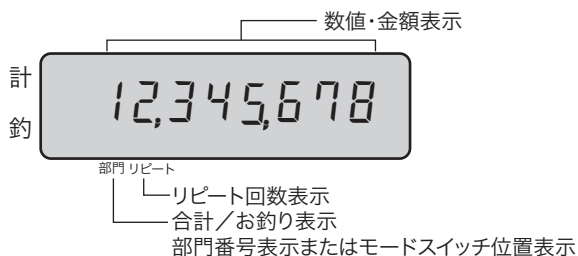
各部の名称と働き

券	券売りキー	商品券の売上時に使います。
小計	小計キー	登録金額の合計(中間合計)を見るときに使います。
信	信用売りキー	クレジットカードの売上時に使います。
現/預 =	現金売り/預かり金 キー	登録の完了(現金での売上)および預かり金 のときに使います。電卓機能時「=」は計算命令 キーです。

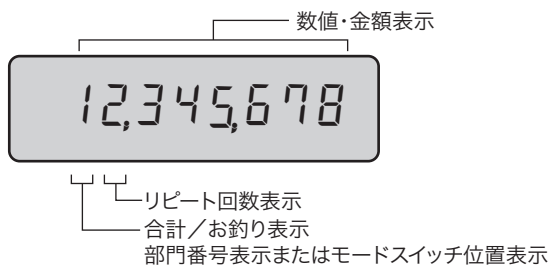
各部の名称と働き

本体表示窓／客用表示窓

本体表示窓



客用表示窓



数値・金額表示

登録金額や数量、合計金額、お釣り、および日付、時刻などが表示されます。電卓機能のときは計算数値が表示されます。

リポート回数表示

リポート回数が1桁表示されます。

合計／お釣り表示

合計金額、またはお釣り金額のときそれぞれのシンボル (□ □) が表示されます。

部門番号表示・モードスイッチ位置表示

モードスイッチを切り替えたときは、その状態が表示されます。

- : モードスイッチが「点検」のとき P: モードスイッチが「設定」のとき
□: モードスイッチが「精算」のとき □: モードスイッチが「電卓」のとき
-: モードスイッチが「戻」のとき

モードスイッチが「登録」のときは、部門番号 (1 ~ 4) が表示されます。ここには次のシンボルも表示されます。

- E: エラーのとき L: 電池の容量が少なくなったとき

日付および時刻の表示中はBluetoothの状態が表示されます。

※ (点滅): Bluetooth 接続待機中 (アドバタイズ)

※ (点灯): Bluetooth 接続中

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

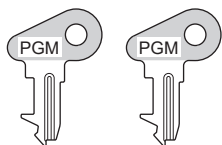
こんなときは

お使いになる前に

設置手順

本製品を初めてお使いになる場合は、以下の手順に従ってセットしてください。

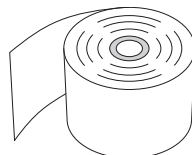
- 1** 梱包箱からレジスター本体と付属品を取り出し、保護テープをはがします。袋の中から付属品を取り出し、全部そろっているか確認します。



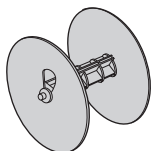
モード鍵：2本



ドローア鍵：1本



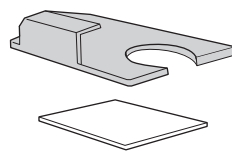
ロールペーパー：1個



ジャーナル巻き取りホルダー



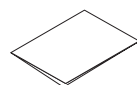
検銭板



落下防止用フックおよび貼付用両面テープ

レジスター本体のプリンタカバー内にセットされています。

お客様からお預かりした紙幣を、マグネットで挟んで留めておくために使います。接着面の汚れをよく拭き取り、ケガをしないように注意して貼り付けてください。



取扱説明書類

2

レジスターを水平な設置場所に置きます。

※電源プラグはコンセントに差し込まないでください。

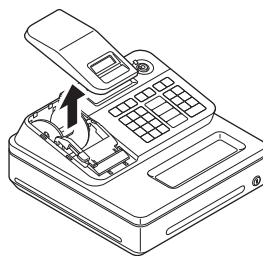
電源プラグを差し込むと自動でガイダンスが印字されます。ロールペーパーをセットしてから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。(手順**5**の操作です)

3

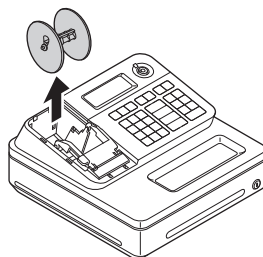
単3型アルカリ乾電池2本(別途ご購入ください)を取り付けます。

お使いになる前に

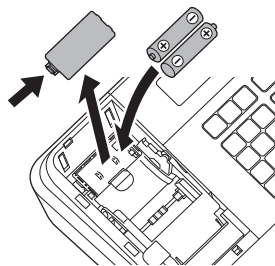
3-1 プリンターカバーを取り外します。



3-2 ジャーナル巻き取りホルダーを取り外します。



3-3 電池ボックスのフタのつまみを、矢印の方向に押し取り外します。単3型アルカリ乾電池2本を＋がイラストと同じになるよう正しくセットします。



3-4 セットと逆の手順で電池ボックスのフタを取り付けます。



電池は停電時や電源プラグが抜けたときに内部メモリーを保護します。電池がセットされていない状態で電源プラグが抜けると、時計や営業記録などをご購入時の状態に戻ります。電池は必ず取り付けます。

電池についてのご注意

- 電池を誤使用すると、発熱・破裂・発火・液もれなどの危険があります。
- 長期間使用しないときは、必ず電池を取り出してください。液漏れの原因となります。
- 使用済みの電池を廃棄するときは、必ず地域の条例や自治体の指示に従ってください。
- 乾電池には使用推奨期限があります。この期間に注意を払ってお使いください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

お使いになる前に

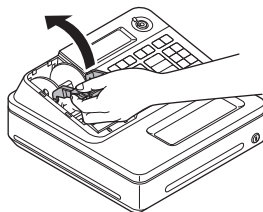
4

ロールペーパー（印字用ロール紙）を取り付けます。

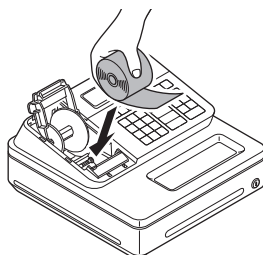
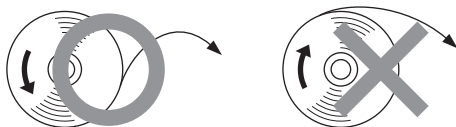
※ロールペーパーへ印字します。必ずセットしてください。

セットしないと設定作業が完了しないためレジスターをご使用になれません。

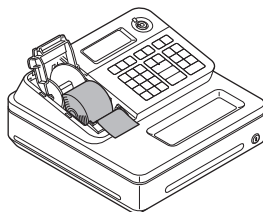
4-1 紙押さえに指をかけて持ち上げます。



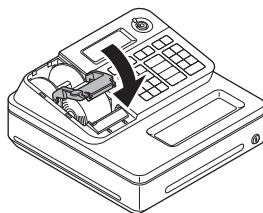
4-2 ロールペーパーの先端が下から出るように持ち、ペーパー入れの手前側にセットします。



4-3 ロールペーパーの先端をプリンターの上に渡します。



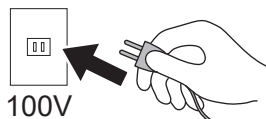
4-4 紙押さえでロールペーパーを挟み、カチッと音がするまで押し込んで閉めます。紙押さえの中心部を押して、左右のロックを確認します。紙押さえから出ているペーパーは切り取ってください。



お使いになる前に

5 電源プラグを家庭用 100V コンセントに確実に差し込みます。
ガイドンスに従って日付/時刻を設定します。

5-1 電源プラグをコンセントに差し込みます。



5-2 日付入力ガイドンスが印字されます。

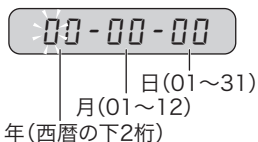
日付の設定を行います。
点滅している桁に、
西暦の 10 の位の値を入力し
てください。
以降、順に点滅している桁
に、西暦の 1 の位の値
月の 10 の位、1 の位の値
日の 10 の位、1 の位の値
を入力してください。

入力した値を変更したい場
合は、<C>+ を押すことで
1 桁ずつ前に戻せませんので
変更したい箇所から再入力
してください。

5-3 印字を参照して日付を入力します。

- ・点滅している場所に、それぞれ年（西暦年
の下2桁）、月、日を入力します。
- ・年、月、日の順に2桁ずつ入力します。

修正するときは、**AC C** を押して1つ前の入力に
戻って入力し直してください。日付の入力が
終わると、自動で時刻入力のガイドンスが印
字されます。



5-4 時刻入力のガイドンスが印字されます。

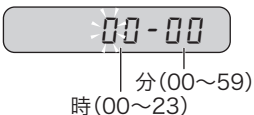
時刻の設定を行います。
点滅している桁に、
時の 10 の位の値を入力し
てください。
以降、順に点滅している桁
に、時の 1 の位の値、
分の 10 の位、1 の位の値
を入力してください。

入力値の変更については、
日付入力と同様に行って
ください。

5-5 印字を参照して時刻を入力します。

- ・点滅している場所に、それぞれ時（24時間
制）、分を入力します。
- ・時、分の順に2桁ずつ入力します。

修正するときは、**強制解除** を2回押して時間から入
力し直してください。先頭で **AC C** を押すと日
付入力に戻ります。



ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

お使いになる前に

本体表示窓が日付入力にならないとき

NO PAPER

紙押さえが正しく閉められていません。紙押さえの両端をしっかりと押してカチッと音がするまで閉めてください。手順 **4** (18 ページ) を参照してください。

L 0

電池が正しくセットされていないか電池が消耗しています。正しくセットし直す、または新しい電池に交換してください。手順 **3** (16 ページ) を参照してください。

6

Bluetooth でレジスターとスマートフォンをペアリング(接続)する場合は、印字ガイダンスに従ってペアリング(接続)します。

無料のスマートフォン用アプリ“CASIO ECR+”を使うとレジスターの設定や売上確認がとても簡単にできます。“CASIO ECR+”を利用するには、レジスターとスマートフォンを以下の手順で設定してください。

- 6-1** レジスターと接続するスマートフォンで右記の QR コードを読み込む、または下記 URL から“CASIO ECR+”をインストールします。

<https://web.casio.com/ecr/app/>



- 6-2** レジスターとスマートフォンを Bluetooth 接続するときは **[現/預]** を押します。Bluetooth 接続しないときは **[小計]** を押します。この設定は後から「Bluetooth ペアリング (接続) 設定」で変更できます (63 ページ)。**[小計]** を押すと設定が終了します。

Bluetooth でスマートフォンと接続しますか？
接続する時は、**[現/預]** を押す。Bluetooth 接続しない時は、**[小計]** を押す。
この設定は後から「Bluetooth ペアリング (接続) 設定」で変更できます (63 ページ)。
[小計] を押すと設定が終了します。

いいえ < 小計 > はい < 現 / 預 >

以下、Bluetooth 接続時の操作です。

- 6-3** レジスターとスマートフォンをペアリング(接続)します。スマートフォンはレジスターの近く(約 1 m 以内を推奨)で操作してください。右記が印字されたら、“CASIO ECR+”がインストール済みのスマートフォンの Bluetooth 設定を ON にします。

スマートフォンの Bluetooth を ON にして、次の名前のレジスターとペアリングをしてください。

EY123456789012

キャンセル < 小計 >

※ Bluetooth の設定方法はスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

6-4 スマートフォンで接続するレジスターの機器名を検索します。検索方法は、AndroidとiPhoneで操作が異なります。機器名はレジスターにより異なります。実際の印字内容をご覧ください。

<Androidをお使いの方>

スマートフォンのBluetooth設定をONにすると画面に表示されている機器名「EY123456789012 (例)」をタップして選択します。

<iPhoneをお使いの方>

スマートフォンにインストールした“CASIO ECR+”を起動します。起動すると最初に対象レジスターを検索します。機器名「EY123456789012 (例)」をタップして選択します。

6-5 スマートフォンでレジスターの機器名をタップして選択すると、レジスターはパスキーを表示します。表示されたパスキー「123456 (例)」をスマートフォンへ入力します。パスキーはレジスターにより異なります。実際の画面をご覧ください。

表示されている6桁のコードをスマートフォンに入力してください。

123456

ペアリングが完了するとレジスターの印字内容と音でお知らせします。

ペアリングができないときはレジの印字内容を確認してください。ペアリングに失敗したことが印字されているときは再度ペアリングしてください。

ペアリングに失敗しました。再度ペアリングをやり直してください。

6-6 レジスターの設定は以上で終了です。引き続きスマートフォンの“CASIO ECR+”を設定してください。

<Androidをお使いの方>

スマートフォンにインストールした“CASIO ECR+”を起動して設定してください。

<iPhoneをお使いの方>

継続して設定してください。

スマートフォンを使うときは、精算をスマートフォンで操作してください。レジスターで精算操作をすると、スマートフォンに売上データを送りません。


お使いになる前に

7 消費税の設定をします。

7-1 課税方式を設定します。ご購入時の設定は **税1内税** です。ご購入時の設定のまま使用するときには手順 **7-2** へ進みます。

	税率初期設定	部門の課税方式初期設定
税1内税	10%	部門1～4（税1内税）
税1外税		—
税2内税	8%	—
税2外税		—
非課税	—	—

参照  「課税方式を一括設定する」(56 ページ)

参照  「すべての商品を非課税扱いにする（非課税レジスター）」(56 ページ)

複数税率・非課税を混在で使用する

参照  「課税方式の設定」(55 ページ)

7-2 税額の円未満の処理を設定します。ご購入時の設定は、**内税は四捨五入**
外税は切捨て です。ご購入時の設定のまま使用するときには手順 **7-3** へ進みます。

参照  「消費税額の円未満の端数処理を設定する」(74 ページ)

7-3 消費税率が改定されたときなどに設定します。ご購入時の設定は **税1：10%（税2：8%）** です。ご購入時の設定のまま使用するときには手順 **8** へ進みます。

参照  「消費税率の設定」(57 ページ)



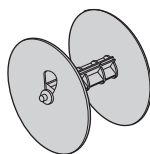
免税事業者は2023年10月以降、消費税額などの記載は0円もしくは記載しないようにすることを推奨します。そのためには消費税は0%で設定する必要があります。

お使いになる前に

- 8** ロールペーパーを、「レシート」として使用するか「ジャーナル」として使用するかを選択します。

レシートとして使用する

ジャーナル巻き取りホルダーは使用しません。ホルダーにセットしてレジスター内に保管してください。凸部を右側にしてセットしてください。

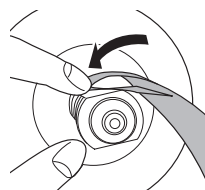


ジャーナルとして使用する

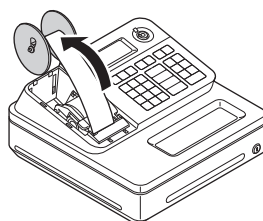
- 8-1** プリンターをジャーナル印字用に設定します。

参照 「レシート/ジャーナルを切り替える」(62 ページ)

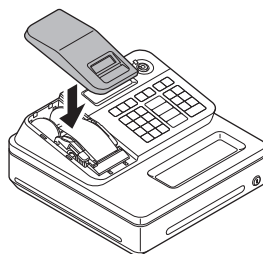
- 8-2** 付属品のジャーナル巻き取りホルダーの溝に、ロールペーパーの先端を差し込み、2～3回巻き付けます。



- 8-3** ホルダーにジャーナル巻き取りホルダーをセットします。モードスイッチの位置を「登録」にして、用紙のたるみがなくなるまで を押します。



- 8-4** プリンターカバーを取り付けます。プリンターカバー手前側のフックを引っ掛けて、後ろ側へ取り付けてください。



- 9** レジスターをお使いいただけます。「初めてレジをお使いになる方へ」(27 ページ)をお読みのうえご使用ください。次ページでは、ご購入時のレシートの印字について説明しています。ご利用状況に合わせ変更してご使用ください。

お使いになる前に

レシートの印字

印字例

1 []

2 [毎度ありがとうございます]

3 [登録番号 T1234567890xxx]
[2023年01月10日 10:02]
[0025]

4 [部門01] ¥60,000

対象計	8.0%	¥60,000
内税		¥4,444
合計		¥60,000
お預り		¥60,000
お約		¥0

1 店名印字スペース

ご購入時の印字は **空白(5行分)** です。半角カタカナ、英数字を使って設定した文字を印字できます。

参照 「レシートにロゴメッセージを印字する」(72 ページ)

2 レシートメッセージ

ご購入時の印字は **毎度ありがとうございます** です。メッセージは1種類のみです。印字しない設定にできます。

参照 「レシートメッセージを印字しない」(72 ページ)

3 事業者登録番号

インボイス制度(適格請求書等保存方式)で、課税事業者の登録番号を印字する際に使用します。

参照 「事業者登録番号の設定」(73 ページ)

4 部門名

ご購入時の印字は **部門01~04** です。商品分類名一覧から選択して商品分類名を印字できます。インボイス対応では取引内容を具体的に示す必要がありますので、必ず部門キーに商品分類名を設定してください。

参照 「部門キーに商品分類名を設定する」(65 ページ)

ご購入時のプリンター設定は「レシート印字用」です。「ジャーナル印字用」でお使いになるときは設定を変更してください。

参照 「レシート/ジャーナルを切り替える」(62 ページ)

レシートとしてお使いのときも、電子ジャーナル機能(39、49 ページ)を使用してジャーナルを取ることができます。



2023年10月1日からインボイス制度が始まります。

インボイス(適格請求書)としてレシートを発行するときは、以下の記載要件があります。

① 適格請求書発行者事業者の氏名又は名称及び登録番号

② 取引年月日

③ 取引内容(軽減税率の対象品目である場合はその旨)

④ 税抜価額又は税込価額を税率ごとに区分して合計した金額

⑤ 税率ごとに区分した消費税額等又は適用税率

⑥ 消費税額等(端数処理は一請求書当たり、税率毎に1回ずつ)

※ 不特定多数の者に対して販売を行う小売業、飲食店業、タクシー業等に係る取引の場合は、書類の交付を受ける事業者の氏名又は名称は省略できます。(適格簡易請求書)

・インボイス(適格簡易請求書)を発行できるのは、適格請求書発行事業者に限られます。課税事業者になり、事前に税務署長の登録を受ける必要があります。

・免税事業者はインボイスを発行できません。

お使いになる前に

課税方式について

消費税の課税方式には3つの方式があります。ご購入時は「内税方式」に設定されています。

内税方式（ご購入時）	外税方式	非課税方式
商品金額に消費税10%が含まれているものを販売する方式 例：価格1,000円 本体価格 909円 （消費税額 91円 合計 1,000円 受取	商品金額に消費税10%が含まれていないものを販売する方式 例：価格1,000円 本体価格 1,000円 （消費税額 100円 合計 1,100円 受取	消費税を計算しない（消費税を課税しない）で販売する方式 例：価格1,000円 本体価格 1,000円 （消費税額 0円 合計 1,000円 受取

内税方式10%のみでご使用のときは、このままご使用いただけます。

内税方式10%のみ以外でご使用のときは

- ・「課税方式を一括設定する」（56ページ）
- ・「すべての商品を非課税扱いにする（非課税レジスター）」（56ページ）
- ・「課税方式の設定」（55ページ）

を参照して課税方式の設定を変更してください。

	税率初期設定	部門の課税方式初期設定
税1内税	10%	部門1～4（税1内税）
税1外税		—
税2内税	8%	—
税2外税		—
非課税		—

軽減税率でご使用のときは対応する部門キーなどの設定変更が必要です。「課税方式の設定」（55ページ）を参照して、課税方式の設定を税2へ変更してください。（対応する部門キーなど）混在するときは、例えば部門1を「税1内税（10%）」、部門2を「税2内税（8%）」のように設定して使いわけてご使用ください。

注意 インボイス対応時は内税・外税のどちらかに統一して使っていただく必要があります。（インボイスでは税率ごとの消費税額等1円未満の端数処理が1回と定められています。）また、総額表示やたばこの登録（必ず内税）などを考慮すると内税で使用することを推奨します。

インボイス制度開始以降、免税事業者の方は税額を0円もしくは記載しない設定にすることを推奨します。

税率を0%に設定して、税額を印字しないようにしてください。

- ・「消費税率の設定」（57ページ）

消費税の設定後、レジスターをお使いいただけます。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

お使いになる前に

レシートとジャーナルの説明

ご購入時のプリンター設定は「レシート印字用」です。レシート印字とジャーナル印字ではロールペーパーのセット方法が異なります。ご使用に合わせてセットしてください。

	巻き取り	店名	ロールペーパーの セット方法
レシート お客様に渡す売上明細です (ご購入時の設定)	しない	印字する	85 ページ
ジャーナル お店の営業記録として保存します (設定を変更してください (62 ページ))	巻き取りする	印字しない	86 ページ

スマートフォン用アプリについて

スマートフォン用アプリ“CASIO ECR+”を使うことで、レジスターとスマートフォンをBluetooth®で接続し、レジスターの設定や売上確認などをスマートフォンで簡単に行えるようになります。

他にもレジスターの使い勝手を高め、店舗運営に役立つ機能を提供します。

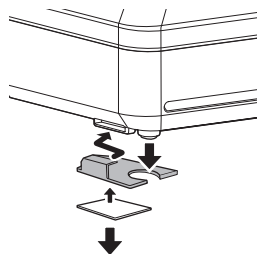
“CASIO ECR+”のインストールおよび機能の詳細については、右記のQRコードを読み込む、または下記URLをご確認ください。

<https://web.casio.com/ecr/app/>



落下防止用フックの取り付け

ドロアーを開けたときに、硬貨の重みでレジスターが浮き上がってしまうのを防止するフックです。貼付用両面テープの表と裏の剥離紙をはがして取り付けてください。



初めてレジをお使いになる方へ

電卓の操作と何がちがうの？

操作例

120円と350円の商品を売り上げ、お客様から1,000円をお預かりした。

■電卓で計算するときのキー操作は

操作	表示例
----	-----

1 2 0 +

3 5 0

=

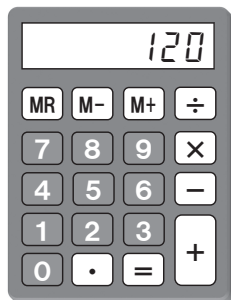
470

- 1 0 0 0

=

-530

※お釣は530円です。

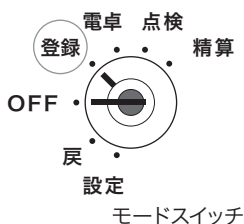


■レジでは、以下のように操作します

手順	操作	表示例
----	----	-----

- 1** モード鍵をモードスイッチに差し込み、モードスイッチの位置を「登録」にします。

※「登録」とは、取引の内容をレジに記憶させることです。



- Point 1** 2 商品の単価を入力し、「部門1」に登録します。

1 2 0 部門1

3 5 0 部門1

- Point 2** 3 登録した商品の合算を求めます。

小計

470

- Point 3** 4 お客様からお預かりした金額を入力し、それが「現金」であることを登録します。

1 0 0 0 現/預

530

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

初めてレジをお使いになる方へ

Point
1

- 「部門」とは商品进行分类するものです。
- 部門 1～4 まで選べます。
- 事前に、商品をどの部門に割り振るか決めておきます。

4 個の部門を上手に使い分けて、

- ・ 商品の種類別に売上を集計する
- ・ 課税方式によって登録する部門を使い分ける

などができます。お店に合わせてお役立てください。

部門の詳細は、「部門キーの便利な使い方」(41 ページ) を参照してください。

Point
2

小計 は、「部門 1～4」に登録したすべての商品の合算を表示します。

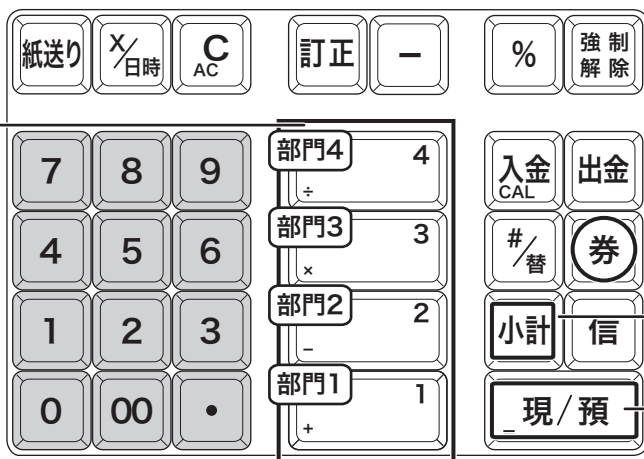
Point
3

現/預 を押すと、レジは「現金で千円の入金」があり、「お釣りと
して 530 円の出金」があったことを記録します。

商品券でお支払いのときは、**現/預** の代わりに商品券 **券** を押します。

レジは、取引による入出金の履歴を、現金/商品券にわけて正しく記録します。

Point
1



Point
2

Point
3

初めてレジをお使いになる方へ

よく使うキーは何？

よく使うキーの概要を説明します。(ほかのキーは本書を順次お読みください。)

取引中に使うキー

% **—** 商品の売上登録をしたすぐあとに **5** **%** を入力すると、商品の単価に対して5%引き(割引)します。**小計** を押したあとであれば、登録した商品の合算に対して割引をします。同様に、**—** は〇〇円引き(値引き)します。

参照 **手** 「合計金額から **—** で値引きをする」(43 ページ)
「商品ごとに割引をする」(44 ページ)
「合計金額から割引をする」(44 ページ)

×/日時 「掛け算」キーです。「100 円の商品を 8 個売上」のときは **8** **×/日時** **100** **部門 1** と入力します。

参照 **手** 「同じ商品を複数売上登録する(乗算登録)」(33 ページ)

AC C **訂正** キー入力をまちがったときはこのキーで訂正します。入力中、どの時点でまちがいに気づいたかで、訂正の方法/訂正に使用するキーが異なります。

参照 **手** 「部門・取引キーを押す前の訂正(置数訂正 **AC C**)」(36 ページ)
「部門キーを押した直後の訂正(直前訂正 **訂正**)」(37 ページ)

取引以外で使うキー

入金/出金の記録を残します。

入金
CAL 開店前に釣り銭をレジに入れて入金登録する。

参照 **手** 「売上とは関係ない現金をドロアーに入れる」(46 ページ)

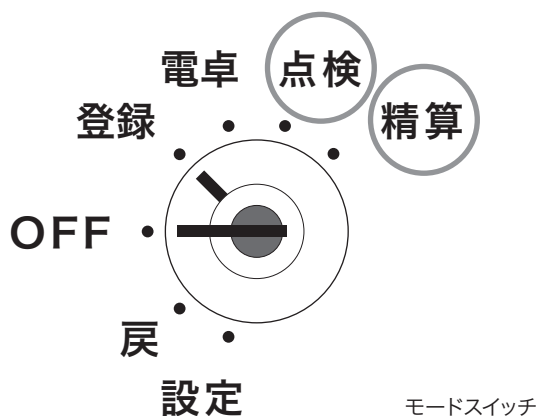
出金 集金業者に、レジから現金を出して支払う。
店の備品購入のため、レジから現金を出す。

参照 **手** 「売上以外の現金をドロアーから出す」(46 ページ)

「取引」に関わる金銭の出入りは、**現/預** **券** で記録し、取引以外は **入金** **出金** で記録します。このようにして、すべての金銭の出入りがレジに記憶され、レジの中にあるべき金銭(在高と呼びます)を把握できます。閉店後はレジにある金銭を数えて、在高と合致するか確認してください。

初めてレジをお使いになる方へ

精算と点検について



精算とは モードスイッチの位置を「精算」にして  を押します。

閉店後、「精算」するとレジは今日1日のデータを集計して、レポートに印字します。オーナーは、レポートを見てその日の売上（金額、数量）、取引内容、現金や商品券の在 high、レジの操作履歴などを確認できます。

レポートの印字が終了すると、自動で今日のデータをすべてクリア（ゴハサン）し、明日の営業に備えます。



注意 「精算」をしてデータをクリアしないと、今日のデータと翌日のデータが混ざってしまいます。毎日、閉店後に必ず「精算」をしてください。




点検とは モードスイッチの位置を「点検」にして  を押します。

「点検」とは、「精算」と同様のものですが、その日の途中経過を知りたいときに使います。



営業中に「点検」すると、データをクリア（ゴハサン）せずに残したまま、その時点での途中経過を集計してレポートに印字します。

1日の仕事の流れ


開店前

- ✓ 電源プラグがコンセントに確実に差し込まれているか確認します。
- ✓ ロールペーパーが充分にあるか確認します。ないときは交換します。
 **ロールペーパーを交換する** 85～86 ページ
- ✓ 日付と時刻を確認します。
 **時刻と日付を表示する** 45 ページ
- ✓ 釣銭用の小銭をドロアーに用意して入金登録します。
 **売上とは関係ない現金をドロアーに入れる** 46 ページ

営業中

- ✓ 商品の売上を登録します。
 「基本的な操作」32 ページ～
- ✓ 必要に応じて売上の確認をします。
 「売上の点検」48 ページ

閉店後

- ✓ 1日の売上を打ち出します。
- ✓ ドロアー内のお金を回収して出金登録します。
 **1日の取引内容と売上を打ち出す** 39 ページ
- ✓ モードスイッチの位置を「OFF」にします。

今日も1日お疲れ様でした。

ドロアーが閉まっていると、現金が入っていると思ってレジごと持ち去る盗難が発生しています。レジがないと翌日の営業にも影響します。閉店後、現金を取り出したらドロアーを開けたままにしておくことをお勧めします。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

基本的な操作

ここでは、基本的なレジの操作について次の場合に分けて説明します。

- ・ 1 品の商品を売り上げる
- ・ 2 品以上の商品を売り上げる
- ・ 同じ商品を複数売り上げる（乗算登録）
- ・ 同じ商品を複数売り上げる（リピート登録）
- ・ 両替などでドロアーを開ける

本書の例について

本書では、「税率 10% の内税方式（円未満四捨五入）」の場合を例に説明しています。

商品 1 つを売上登録する

商品 1 つを現金でお買い上げになったときの例です。

操作例

単価	数量	部門	預かり金
¥1,200	1	部門 1	¥2,000



手順と操作

表示例

印字例

1 商品の単価を入力して、部門キーを押します。

1 2 0 0 + 1

1— 1 1,200

1: 部門番号

2 を押します。

2— 1,200

2: 合計表示のとき点灯

3 預かり金額を入力して を押します。

2 0 0 0

3— 800

3: お釣表示のとき点灯

2023年01月10日	10:31
	0020
部門 01	¥1,200
対象計	10.0% ¥1,200
内税	¥109
合計	¥1,200
お預り	¥2,000
お釣	¥800

基本的な操作

商品 2 品以上を売上登録する

複数の商品をお買い上げになったときの例です。

操作例

単価	数量	部門	預かり金
¥200	1	部門 4	¥2,500
¥800	1	部門 2	
¥1,100	1	部門 1	



手順

操作

印字例

- 商品の単価を入力して、部門キーを押します。商品の数量分繰返します。
2 0 0 ÷ 4
8 0 0 - 2
1 1 0 0 + 1
- 小計 を押します。 小計
- 預かり金額を入力して 現/預 を押します。 2 5 0 0 現/預

2023年01月10日		10:35
		0024
部門 04		¥200
部門 02		¥800
部門 01		¥1,100
対象計	10.0%	¥2,100
内税		¥191
合計		¥2,100
お預り		¥2,500
お釣		¥400

同じ商品を複数売上登録する (乗算登録)

同じ商品を複数の商品をお買い上げになったときの例です。

操作例

単価	数量	部門	預かり金
¥200	12	部門 2	¥10,000



手順

操作

印字例

- 商品の数量、 $\times/\text{日時}$ 、単価、部門キーの順に押します。
1 2 $\times/\text{日時}$
2 0 0 - 2
- 小計 を押します。 小計
- 預かり金額を入力して 現/預 を押します。 1 0 0 0 0 現/預

2023年01月10日		10:41
		0027
12 点	@200	
部門 02		¥2,400
対象計	10.0%	¥2,400
内税		¥218
合計		¥2,400
お預り		¥10,000
お釣		¥7,600

ポイント 入力できる数量は「1～9999」の整数です (戻しの場合は「1～999」の整数です)。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

基本的な操作

同じ商品を複数売上登録する（リピート登録）

商品1つを現金でお買い上げになったときの例です。

操作例

単価	数量	部門	預かり金
¥300	3	部門2	¥2,000
¥500	2	部門1	



手順と操作

表示例

印字例

1 商品の単価を入力して、商品の数量分部門キーを押します。

3000 - 2

- 2

- 2

1-2 300

1: 部門番号

2-2 300

2: リピート回数

3 300

2 商品の単価を入力して、商品の数量分部門キーを押します。

5000 + 1

+ 1

2 500

3 小計 を押します。

小計

1900

4 預かり金額を入力して 現/預 を押します。

2000 現/預

100

2023年01月10日	10:43
	0030
部門02	¥300
部門02	¥300
部門02	¥300
部門01	¥500
部門01	¥500
対象計	10.0% ¥1,900
内税	¥173
合計	¥1,900
お預り	¥2,000
お釣	¥100

⚠️注意 リピート回数は、10回以上のときは下1桁のみ表示します。

両替などでドロアーを開ける

両替など「取引」以外で、ドロアーを開けるときの操作です。



手順

操作

印字例

1 \#/\# を押します。ドロアーが \#/\# 開きます。

2023年01月10日	10:51
	0033
両替



取引中、 \#/\# は「番号印字」キー（45ページ）として機能します。 \#/\# を押してもドロアーは開きません。

基本的な操作

レシート・ジャーナルの見方

レシート（ジャーナル）にはレジの操作内容が印字されます。消費税の設定（内税／外税／非課税）によって、印字内容が異なります。ここでは、レシートとジャーナルの見方について説明します。（実際のレシート／ジャーナルと印字例は多少異なります。）

レシート：課税方法が混在の場合

1	毎度ありがとうございます
2	2023年01月10日 09:32
3	0014
4	部門02 ¥5,780
	部門01 ¥360
	部門01 ¥360
	部門01 ¥360
	10点 @128
	部門03 ¥1,280
	部門01 ¥880
	-100
	部門03 ¥1,750
	部門03 ¥850
	部門04 非 ¥3,000
5	小計 ¥14,520
6	%-(5%) -726
	対象計 10.0% ¥10,944
7	内税 ¥995
8	非課税合計 ¥2,850
9	合計 ¥13,794
10	お預り ¥15,000
11	お釣 ¥1,206
12	

- 1 店名印字用スペース
- 2 レシートメッセージ
- 3 日付／時刻
- 4 一連番号
- 5 非課税商品
- 6 合計からの割引き
- 7 内税合計額(税込み)
- 8 内税額
- 9 非課税合計額
- 10 合計
- 11 預かり額
- 12 お釣り

ジャーナル：内税の場合

	09:32	2	
	0014	3	
1	部門02	¥5,780	4
	部門01	¥360	5
	部門01	¥360	5
	部門01	¥360	5
	10点 @128		
1	部門03	¥1,280	6
	部門01	¥880	7
	-	-100	7
	部門03	¥1,750	
1	部門03	¥850	
	部門04	¥3,000	
	小計	¥14,520	8
	%-(5%)	-726	9
	対象計	10.0% ¥13,794	10
	内税	¥1,254	11
	合計	¥13,794	12
	お預り	¥15,000	13
	お釣	¥1,206	14

- 1 部門名
- 2 時刻
- 3 一連番号
- 4 単品登録
- 5 リピート登録
- 6 乗算登録
- 7 値引き
- 8 登録合計
- 9 合計からの割引き
- 10 内税合計額(税込み)
- 11 内税額
- 12 合計
- 13 預かり額
- 14 お釣り

ジャーナル：節約モードでの印字

	09:32	
	0014	
1	部門02	¥5,780
	部門01	¥360
	部門01	¥360
	部門01	¥360
	10点 @128	
	部門03	¥1,280
	部門01	¥880
	-	-100
	部門03	¥1,750
	部門03	¥850



- ・ジャーナル（営業記録）は、ジャーナル巻き取りホルダーに巻き取ったあとと保管してください。
- ・レシートとしてお使いのときも、電子ジャーナル機能（39、49ページ）を使用してジャーナルを取ることができます。

ご使用前に

使い方

便利な使い方


設定の仕方

こんなときは


キー操作をまちがえたとき

取引中に操作をまちがえた際の訂正方法は、操作の状況に応じて2つの方法があります。

部門・取引キーを押す前 による置数訂正

「登録」の途中で置数入力のみまちがいに気がついた場合、部門キーを押す前であれば、 を押して入力した単価や個数を取り消します。

部門キーを押した直後 による直前訂正

1つの商品を「登録」した直後（部門キーを押した直後）にまちがいに気がついた場合、 を押して直前に「登録」した商品のみを取り消します。

部門・取引キーを押す前の訂正（置数訂正 ）

部門キーを押す前は、すべて  で訂正できます。

操作例

	単価	数量	部門	預かり金
①	¥120	1	部門1	④ ¥3,000
②	¥200	5	部門4	
③	¥105	10	部門2	



① ¥120の単価を、¥1,200に押しまちがえて入力した

手順


1 まちがえた単価を入力して  を押します。

操作

2 正しい単価を入力して部門キーを押します。

②数量をまちがえて  を押した

手順

1 まちがえた数量を入力して  を押します。

操作


    

2 正しい数量と単価を入力して部門キーを押します。

③乗算登録時に、¥105の単価を¥150に押しまちがえて入力した

手順

1 数量とまちがえた単価を入力して  を押します。

操作

2 数量と正しい単価を入力して部門キーを押します。

キー操作をまちがえたとき

④預かり金の入力をまちがえた

手順

操作

1 まちがえた預かり金入力して **AC/C** を押します。

小計 **5000** **AC/C**

2 正しい預かり金を入力して部門キーを押します。

小計 **3000** **現/預**



- ・プリンターに印字される前であれば置数を訂正できますが、印字された後での訂正はできません。
- ・ここでは「部門キーを押す前の訂正」と「**現/預**を押す前の訂正」を例に説明しましたが、**%**、**-**、**券**、**入金**、**出金**も同様に、キーを押す前であれば **AC/C** を押して置数を訂正できます。

部門キーを押した直後の訂正（直前訂正 **訂正**）

部門キーを押した直後は、**訂正** で訂正できます。

操作例

	単価	数量	部門	預かり金
①	¥505	1	部門3	¥2,000
②	¥230	3	部門2	



① ¥505 の単価を ¥550 に押しまちがえて入力し、部門キーを押した

手順

操作

印字例

1 まちがえた単価を入力して **550** × **3** **訂正**
訂正 を押します。

訂正したい操作

部門03	¥550
訂正	-550
部門03	¥505

2 正しい単価を入力して部門 **505** × **3**
キーを押します。

1: 直前の行の金額を訂正

②乗算登録時に ¥230 の単価を ¥220 に押しまちがえて入力し、部門キーを押した

手順

操作

印字例

1 数量とまちがえた単価を入力して **3** **×/日時** **220** **-** **2** **訂正**
訂正 を押します。

訂正したい操作

3点	@220	
部門02	¥660	
訂正	-660	
3点	@230	
部門02	¥690	
対象計	10.0%	¥1,195
内税		¥109
合計		¥1,195
お預り		¥2,000
お釣		¥805

2 正しい単価を入力して部門 **3** **×/日時** **230** **-** **2**
キーを押します。

3 **小計** を押し、預かり金を入力して **小計** **2000** **現/預**
現/預 を押します。

1: 直前の行の金額を訂正



- ・部門キーと同様に、**%**、**-** を押した直後であれば、商品登録や割引き、値引きの取り消しができます。

返品処理をする

売り上げた商品の返品処理をする

すでに売り上げた(レシートの発行を終えた)商品の「返品戻し」は、モードスイッチを「戻」の位置に合わせて、売上登録と同じように操作する「戻」モードで返品処理をします。モードスイッチを「戻」にすると、本体表示窓の左側に“-”が表示されます。

操作例

インボイス対応では、返品の際になるレシートの年月日と一連番号を「#/替」で番号を入力して、返品対象のレシートを明確にします。



基になるレシート

1	2023年11月10日	12:34 0057	2
	部門 01	¥780	
	部門 01	¥780	
		¥1,280	

1: 年月日
2: 一連番号

単価	数量	部門	戻し金
¥780	2	部門 1	現金
¥1,280	1	部門 3	

手順

操作

印字例

1 モードスイッチの位置を「戻」にします。

2 基になったレシートの年月日を入力して、**#/替**を押します。

3 基になったレシートの一連番号を入力して、**#/替**を押します。

4 返品する商品の単価を入力して、商品の数量
分部門キーを押します。

5 **小計**を押して **現/預**を押します。

6 モードスイッチの位置を「登録」にします。

#	20231110
	0057
2023年11月10日	18:34
戻	0082
部門 01	¥780
部門 01	¥780
部門 03	¥1,280
対象計	10.0% ¥2,840
内税	¥258
現金	¥2,840

1: 「戻」モードのしるし
(一連番号の行に印字されます)



戻モードの処理が終わったら、モードスイッチの位置を「登録」に戻してください。そのままにすると、以降の売上登録する商品がすべて返品扱いで処理されます。

閉店後の操作～精算


「精算」とは、その日の取引データを集計してレポートを印字した後、元になった取引データをすべてクリア（ゴハサン）する処理です。「精算」をすると、レジは電子ジャーナルの印字とレポート印字とデータクリアを続けて処理します。オーナーはレポートを見て、その日の売上（金額、数量）、取引内容、現金や商品券の在 High、レジの操作履歴などを確認できます。（レポートは必要に応じて保管してください。）

注意 「精算」をしてデータをクリアしないと、今日のデータと翌日のデータが混ざってしまいます。毎日、閉店後に必ず「精算」をしてください。

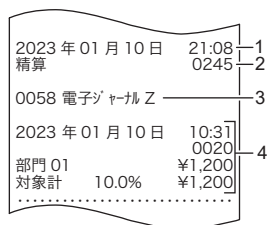
1日の取引内容と売上を打ち出す

モードスイッチを「精算」の位置に合わせます。本体表示窓の左側に“L”が表示されます。

操作例

モードスイッチの位置を「精算」にして  を押します。

印字例



1 日付/時刻
2 モード/一連番号
3 レポートタイトル
4 電子ジャーナル印字

2023年01月10日	21:08	1	
精算	0245	2	
0058 電子ジャーナルZ			3
2023年01月10日	10:31	4	
	0020		
部門01		¥1,200	
対象計	10.0%	¥1,200	
.....			

- 1 日付/時刻
- 2 モード/一連番号
- 3 レポートタイトル
- 4 電子ジャーナル印字

精算 

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

閉店後の操作～精算

印字例

2023年01月10日	21:08	5
精算	0245	6
登録番号 T1234567890xxx		7
0000 日計明細	Z 0012	8
部門 01	603 個	9
	¥263,957	
部門 02	41 個	10
	¥241,429	
部門 03	32 個	11
	¥14,297	
総売	1059 個	12
	¥524,966	
純売	179 件	13
	¥542,140	
現金在高	¥140,220	14
券在高	¥20,000	15
信在高	¥10,000	16
対象計	10.0%	17
	¥512,763	
内税	¥46,615	18
非課税額合計	¥5,267	19
サービス	-712	20
戻しモード	3 件	21
	¥9,596	
電卓	5 件	21
現金	176 件	22
	¥512,330	
券	1 件	23
	¥20,000	
入金	¥27,890	24
出金	¥400,000	25
-	¥2,228	26
%	¥4,738	27
訂正	31 件	28
両替	8 件	29
強制解除	3 件	30
	¥472	

- 5 日付/時刻
- 6 モード/一連番号
- 7 登録番号(設定時)
- 8 レポートタイトル/精算回数
- 9 部門1:売上個数・売上金額
- 10 部門2:売上個数・売上金額
- 11 部門3:売上個数・売上金額
- 12 総売上:個数/金額(*1)
- 13 純売上:件数(客数)/金額(*2)
- 14 現金在高(*3)
- 15 商品券在高
- 16 信用売り在高
- 17 内税:対象額(税込み)/消費税額
- 18 非課税額合計
- 19 5円/10円丸め合計
- 20 「戻」モード:件数/金額
- 21 電卓モードの計算回数
- 22 現金売上:件数/金額
- 23 商品券売上:件数/金額
- 24 入金合計
- 25 出金合計
- 26 値引き合計
- 27 割引き合計
- 28 直前訂正回数
- 29 両替回数
- 30 強制解除:件数/金額



- ・電子ジャーナルは「レシート」設定のとき記録されます。「ジャーナル」設定のときは記録されません。
- ・インボイス対応時は、インボイス交付の写しが必要ですので、必ず電子ジャーナルを精算(印字)して保管してください。
- ・スマートフォンアプリ ECR+ を使用しているときは、精算をスマートフォンで操作してください。



- ・点検・精算の印字例は「レシート」に設定した場合の例です。
- ・集計数値が“0”の部門および取引は、その部門および取引の項目が印字されません。
- ・「日計明細」の精算(または点検)をはじめ、本機の点検/精算で印字される各項目間には、以下の関係式が成り立ちます。
 - *1 部門合計(個数、金額とも)
 - *2 純売上=現金売上額+商品券売上
=総売上-値引き-割引き-5円/10円丸め合計+外税額(=お客様の支払い額の総合計)
 - *3 現金在高=現金売上+入金合計-出金合計-券売り釣銭合計
総売上-値引き-割引き=内税対象額+外税対象額+非課税額合計
- ・精算時に電子ジャーナルを印字しない設定へ変更するときは、「点検/精算レポートの印字制御を設定する」(78 ページ)を参照してください。

部門キーの便利な使い方



事前に設定が必要な機能があります。必要に応じて参照ページを見てください。また、印字例は設定内容によって記載の例と異なることがあります。

部門について

「部門」とは、商品进行分类するもので「部門1～4」まで選択できます。「部門キー」には、いろいろな機能が用意されていますので、お店のご利用に合わせてご活用ください。

使用例1


扱う商品进行分类して「部門1～4」に割り振り、部門ごとに売上を集計する

使用例2

「部門1」は¥100、「部門2」は¥200と設定して、レジ打ちの際の単価入力の手間を省く

使用例3

正しい税計算のため、「部門4」：非課税、「部門3」：税1外税、それ以外は税1内税と設定し、レジ打ちの際は商品の課税方式に応じて該当の「部門」に登録する（軽減税率が適用されたときは税2内税、税2外税に設定して登録する）

機能	ご購入時の設定	説明	参照ページ
部門名	部門01～部門04	レシート(ジャーナル)に印字される部門名です。商品分類名一覧(65ページ)から選択した商品名に変更できます。任意のキャラクター(文字)を設定する機能はありません。	65
商品単価	設定されていません	「部門キー」ごとに単価を設定できます。設定すると、「部門キー」を押すだけで設定した単価で売上できます。	54
課税方式	税1内税	設定に応じた税計算を行います。内税、外税、複数税率、非課税のいずれかを設定します。	55
単品売り	設定されていません	設定すると、「部門キー」を押すだけで  を押した状態になります。単品売りを繰り返すときに便利です。商品単価の設定も必要です。	80
入力桁制限	7桁以内	桁数制限を設けて、制限を越える桁数の入力をエラーにすることができます。	80
負単価部門	設定されていません	この部門に登録する商品は、マイナスとして処理されます。値引きやクーポン券などの登録に使用すると便利です。	80

部門キーの便利な使い方

単価設定した部門キーを用いて商品を登録する

部門キーに単価を設定すると、部門キーを押すだけで単価が登録できます。単価を部門キーに設定するときは、「商品単価を部門に設定する」(54 ページ) を参照してください。

操作例

単価	数量	部門	預かり金
¥800 (部門キーに設定済み)	1	部門 3	¥5,000
¥1,200	1	部門 3	
¥600	1	部門 2	
¥500 (部門キーに設定済み)	4	部門 2	



手順

操作

印字例

- 1 部門キーを押すと、設定された単価で登録されます。
- 2 設定されている単価と異なる単価で登録する場合は、新しい単価を入力して、部門キーを押します。
- 3 乗算登録も同様です。
- 4 を押し、お預かり金を 入力して を押します。

2023年01月10日	11:23
	0061
部門 03	¥800
部門 03	¥1,200
部門 02	¥600
4 点	@500
部門 02	¥2,000
対象計	10.0% ¥4,600
内税	¥418
合計	¥4,600
お預り	¥5,000
お釣	¥400



ポイント 手順 2 は、単価設定をしていない場合も同じ操作です。「基本的な操作」(32 ページ) を参照してください。この操作によって、部門キーに設定されている単価が変わることはありません。

値引きをする

合計金額から **[-]** で値引きをする

値引きをするときは **[-]** で登録します。

操作例

単価	数量	部門	値引き額	預かり金
¥1,000	1	部門 1	¥500	¥5,000
¥2,500	1	部門 2		



手順

操作

印字例

1 商品を登録します。

1 0 0 0 + 1
2 5 0 0 - 2

2 **小計** を押します。

小計

3 値引き額を入力して、
[-] を押します。

5 0 0 [-]

4 **小計** を押し、お預かり金を
入力して **現/預** を押します。

小計 5 0 0 0 **現/預**

2023年01月10日	12:18
	0094
部門01	¥1,000
部門02	¥2,500
-	* -500
対象計	10.0% ¥3,000
内税	¥273
合計	¥3,000
お預り	¥5,000
お釣	¥2,000



注意 「小計」を押した直後の値引きは小計金額から値引きします。その値引き額を商品ごとに個別に割り振る機能はありません。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

割引きをする

商品ごとに割引きをする

売り上げる商品を登録したあと、その商品の割引きができます。

操作例

単価	数量	部門	値引き額	預かり金
¥1,000	1	部門 1	5% (設定済み)	¥5,000
¥2,500	1	部門 2	7.5%	



手順

操作

印字例

- 商品を登録します。
1 0 0 0 **+** **1**
- %** を押して、直前に登録した商品を 5% (設定値) 割引きします。
%
- 次の商品を登録して割引きをします。
2 5 0 0 **-** **2**
7 **.** **5** **%**
- 小計** を押し、お預かり金を入力して **現/預** を押します。
小計 **5 0 0 0** **現/預**

2023年 01月 10日		12:21
		0098
部門 01		¥1,000
%- (5%)		-50
部門 02		¥2,500
%- (7.5%)		-188
対象計	10.0%	¥3,262
内税		¥297
合計		¥3,262
お預り		¥5,000
お釣		¥1,738

合計金額から割引きをする

小計 を押したあとに割引きをすると、売り上げた商品の合計に対する割引きをします。

操作例

単価	数量	部門	割引き率	預かり金
¥1,000	1	部門 1	10%	¥5,000
¥2,500	1	部門 2		



手順

操作

印字例

- 商品を登録します。
1 0 0 0 **+** **1**
2 5 0 0 **-** **2**
- 小計** を押し、割引き率を入力して **%** を押します。
小計 **1 0** **%**
- 小計** を押し、お預かり金を入力して **現/預** を押します。
小計 **5 0 0 0** **現/預**

2023年 01月 10日		12:22
		0099
部門 01		¥1,000
部門 02		¥2,500
小計		¥3,500
%- (10%)		-350
対象計	10.0%	¥3,150
内税		¥286
合計		¥3,150
お預り		¥5,000
お釣		¥1,850



- ・割引き率の設定は「割引き率を **%** に設定する」(54 ページ) を参照してください。
- ・1 円未満の端数設定 (四捨五入、切り上げ、切り捨て) または **%** 割増しの設定もできます。「%計算の端数処理を設定する / **%** を割増しに変更する」(79 ページ) を参照してください。



商品を 1 つずつ売上登録して都度割引きしたとき、複数売上登録 (乗算登録) して割引きしたとき割引額があわないときがありますので、ご注意ください。

番号を印字する／日時の表示

伝票番号や商品コードを印字する

レシートに売上金額ではない数値（伝票番号、商品コード、お客様番号、電話番号など）を印字できます（番号印字）。印字できる数値は最大8桁です。

操作例

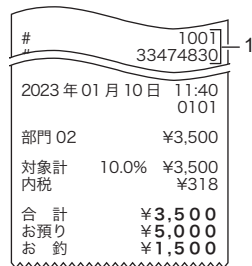
お客様番号<1001>に下記の商品を売り上げます。

単価	数量	部門	預かり金
¥3,500 (商品コード 33474830)	1	部門2	¥5,000



手順 操作 印字例

- お客様番号を入力して、**1001** を押します。
- 商品コードを入力して、**33474830** を押します。
- 商品を登録します。 **3500** **2**
- を押し、お預かり金を **5000** 入力して を押します。



1: 番号印字

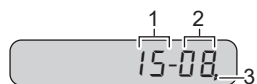
時刻と日付を表示する

モードスイッチの位置を「登録」または「戻」にして を押すと、時刻と日付を表示します。 を押すと元に戻ります。時刻と日付のセットは、「時刻と日付の設定」(53 ページ) を参照してください。

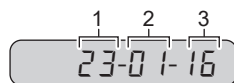
手順 操作 表示例

- 時刻と日付を確認します。 を押すと時刻 が表示されます。
- もう一度 を押すと日付が表示されます。
- もう一度 を押すと時刻が表示されます。
- 日付・時刻表示を解除します。

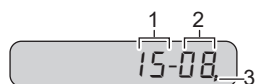
※西暦年は下2桁を表示します。



1: 時 2: 分 3: 1秒ごとの点滅



1: 西暦年 2: 月 3: 日



1: 時 2: 分 3: 1秒ごとの点滅



ご使用前に

使い方


便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

入金処理と出金処理

売上とは関係ない現金をドロアーに入れる

掛け売り代金の受け取りや釣銭用小銭の補充など、売上とは関係ない現金をドロアーに入れる（＝入金）ときは、 で登録して記録を残します。

操作例

釣り銭準備として 8,000 円をドロアーに入れます。

手順

操作


印字例

登録 

- 1 入金額を入力して、 を **8 0 0 0 0**  押します。

2023年01月10日	11:32 0069
入金	¥8,000

売上以外の現金をドロアーから出す

集金や、ドロアーがいっぱいになったときなど、売上とは関係ない現金をドロアーから出す（＝出金）ときは、 で登録して記録を残します。

操作例

1万円札を 15 枚ドロアーから金庫に移します。

手順

操作

印字例

登録 

- 1 出金額を入力して、 を **1 5 0 0 0 0 0**  押します。

2023年01月10日	12:04 0073
出金	¥150,000



・この操作で、点検／精算時にドロアー内の現金在高を正確に把握できます。

・入金額、出金額ともに入力金額は8桁以下にしてください。

商品券の売上

商品券で売り上げる

商品券（券売り）での売上は、 で登録します。

操作例

単価	数量	部門	預かり金
¥1,500	4	部門2	¥20,000
¥5,500	1	部門1	



手順

操作

印字例

1 商品を登録します。



2 を押します。



3 商品券の預かり金額を入力して、 を押します。



2023年01月10日 12:40	
0107	
4点	@1,500
部門02	¥6,000
部門01	¥5,500
対象計	10.0% ¥11,500
内税	¥1,045
合計	¥11,500
券お釣	¥20,000 - 1
	¥8,500 - 2

1: 券預かり額

2: 現金釣銭額

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

売上の点検

点検とは、営業中にその日の途中経過を確認する操作です。

- ・モードスイッチを「点検」の位置に合わせます。本体表示窓の左側に“P”が表示されます。
- ・レポートに印字される“X”は「点検」を意味します。
- ・点検をしても、それまでのデータは消去(ゴハサン)されません。



現時点での売上合計と現金在高を確認する

手順

表示例と操作

印字例

1 モードスイッチの位置を「点検」にします。

2 を押します。

311,570

純売上金額を表示します。

```
2023年01月10日 13:45 1
点検 0119 2
  在売点検 X 3
総売 613個 4
      ¥305,587
純売 95件 5
      ¥311,570
現金在高 ¥162,830 6
券在高 ¥13,740 7
信在高 ¥10,000 8
```

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1 日付/時刻 | 5 純売上:件数(客数)/金額 |
| 2 モード/一連番号 | 6 現金在高 |
| 3 点検シンボル | 7 商品券在高 |
| 4 総売上:個数/金額 | 8 信用売在高 |



レポートを印字せず、本体表示窓に純売上を表示するだけ(エコモード)に設定できます。「点検/精算レポートの印字制御を設定する」(78ページ)を参照してください。

日計明細を確認する

手順

操作

1 モードスイッチの位置を「点検」にします。

2 を押します。

部分累計を確認する

部分累計とは、ある一定の期間(週単位や月単位など)の売上合計のことです。「期間」は、レジに何かの値を設定するのではなく、部分累計を精算して以降の売上を、自動で累積し続けます。週単位であれば「週末の閉店後」、月単位であれば「月末の閉店後」などの運用ルールを決め、定期的に部分累計を精算してください。

手順

操作

1 モードスイッチの位置を「点検」にします。

2 設定コードを入力して を押します。

20

売上の精算

精算とは、閉店後に売上データを集計してレポート印字したあと、元になったデータをクリア(ゴハサン)にする操作です。

- ・モードスイッチを「精算」の位置に合わせます。本体表示窓の左側に“J”が表示されます。
- ・レポートに印字される“Z”は「精算」を意味します。
- ・日計明細を精算すると日計明細のデータが、部分累計の精算をする
と部分累計のデータがそれぞれ消去されます。



1 日の売上を精算する (日計明細の精算)

日計明細の精算に関する手順と印字例は、「1日の取引内容と売上を打ち出す」(39ページ)を参照してください。

部分累計の集計内容を精算する

手順	操作	印字例	
1	モードスイッチの位置を「精算」にします。	<p>2023年01月10日 21:26 精算 0315 0020 部分累計 ZZ 0001 総売 8261 個 ¥89,464,735 純売 4184 件 ¥91,358,570</p>	
2	設定コードを入力して 20 <input type="button" value="現/預"/>		
	<input type="button" value="現/預"/> を押します。		
1	日付/時刻		4 総売上: 個数/金額
2	モード/一連番号		5 純売上: 件数(客数) / 金額
3	コード/レポート名/精算シンボル/精算回数		

注意 個数または件数が4桁を超える、または金額が8桁を超えると、超えた部分は印字されません。

電子ジャーナルを精算する (印字する)

手順	操作
1	モードスイッチの位置を「精算」にします。
2	設定コードを入力して <input type="button" value="現/預"/> を押します。

58

ポイント 印字せずに電子ジャーナルをクリアするときは、手順2で **4058** と入力します。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

電卓機能の使い方

モードスイッチの位置を「電卓」にすると、下図のキーで電卓と同様に計算できます。そのほかにも便利な機能があります。ご活用ください。

- ・モードスイッチを「電卓」にすると、本体表示窓の左側に“[”が表示されます。



注意 8桁（負数のときは7桁）を超えるとエラーになります。

- ・計算命令キーは、上記のほか \ominus を減算に \times /日時 を乗算に使用できます。
- ・電卓モード中は、#/替 または 現/預 を押すとドアアーが開きます。

税抜き金額・税額を計算する

券

1,500円の税抜き金額と内税額は？
（「税1」が税率10%、内税、端数四捨五入の場合）



操作

表示例

AC C 1 5 0 0 券

1364

税抜き金額

(続けて)

券

136

内税額

注意 税計算は、「税1」に設定されている税率、計算方式、端数処理方法が使用されます。設定内容によって、求められる答は異なります。

電卓機能の使い方

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

% を使って計算する

%

% を使うと下表の計算が簡単にできます。



	演算内容	キー操作	数式
割合計算	a 円の b% を求める	a \times 3 b %	$a*b/100$
割増計算	a 円の b% 増しを求める	a \times 3 b % + 1	$a + (a*b/100)$
割引計算	a 円の b% 引きを求める	a \times 3 b % - 2	$a - (a*b/100)$
比率計算	a 円は b 円の何%かを求める	a \div 4 b %	$a/b*100$
増減比率計算	b 円から a 円に変化したときの b 円に対する変化率を求める	a - 2 b %	$(a - b)/b*100$
売価設定計算	原価 a 円の商品を利益率 b% で販売するときの売価を求める	a + 1 b %	$a/(1 - b/100)$

単価を計算する

「税込み商品（内税）の単価がいくらになるか？」今まで説明したキー操作を組み合わせることで簡単に求めることができます。

操作例

現在、税込 1 万円（内税 10%）の商品が、税率 8% になるといくらになるか。



操作

表示例

1 0 0 0 0

10000

券

9091

\times 3 8 %

「10000」の税抜き価格

72728

+ 1

「9091」の 8% 分

9818.28

新税率での税込価格

電卓機能の使い方

呼び出し機能を使って計算する















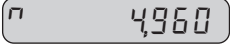






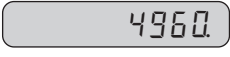







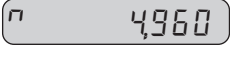
入金
CAL

操作例


以下の商品の売上合計を4人で割り勘にします。

- ・部門1キーに登録されている単価930円の商品を4個お買い上げ
- ・部門2キーに登録されている単価1,240円の商品を1個お買い上げ

登録  電卓 

手順	操作	表示例
1 モードスイッチの位置を「登録」にします。 商品に登録します。	      + 1       - 2	  
2  を押します。		 合計金額
3 モードスイッチの位置を「電卓」にします。  を押すと、手順2の小計の値を呼び出します。	 	 呼び出された合計金額
4 割り勘の計算をします。	 ÷ 4  	 1人当たり割り勘額
5 モードスイッチの位置を「登録」にします。  を押すと、元の状態（手順2）に戻ります。	 	 合計金額



- ・電卓時に呼び出せる数値は、最終登録時の合計金額（ を押したときに表示される数値）です。また、登録中に呼び出せる数値は、電卓時の最終の答（「イコール」で求められた数値）です。
- ・小数点以下がある「電卓」時の答を「登録」中に持ってきたときは、小数点以下が切り捨てられます。また、マイナスや“0”の答を持ってきた場合は、エラーになります。

時刻と日付の設定

モードスイッチの位置を「設定」にして時刻と日付を設定します。電池を交換したときは、時刻と日付を確認してください。

・モードスイッチを「設定」にすると、本体表示窓の左側に“P”が表示されます。

時刻を設定する

操作例

午後2時05分に設定します。

手順

操作

表示例



1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 時刻は24時間制(00～23)で、分は2桁(00～59)で入力して $\times/\text{日時}$ を押します。
 $\times/\text{日時}$ を押すと同時に時刻が設定され、秒を刻みます。

1 4 0 5 $\times/\text{日時}$

1 2 3
14-05-16

1: 時 2: 分 3: 秒

3 AC C を押します。

C/AC C

P 0



・時刻は24時間制で入力します。(00～23)
・時と分は必ず2桁ずつ入力します。(0～59 → 00～59)

日付を設定する

操作例

2023年1月16日に設定します。

手順

操作

表示例



1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 年は西暦年の下2桁(2023 → 23)、月と日を2桁(01～12、01～31)で入力して $\times/\text{日時}$ を押します。

2 3 0 1 1 6 $\times/\text{日時}$

1 2 3
23-01-16

1: 年 2: 月 3: 日

3 AC C を押します。

C/AC C

P 0



・年は西暦年の下2桁を入力します。(2023 → 23)
・月と日は必ず2桁ずつ入力します。(1～12 → 01～12、1～31 → 01～31)

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

単価・割引率の設定

商品単価を部門に設定する

操作例

部門	単価
部門 3	¥800
部門 4	¥500



手順

操作

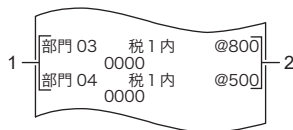
印字例

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 単価を入力して、設定する部門を押します。



3 を押します。



1: 部門名
2: 設定単価

ポイント 単価は最大6桁（999,999円）まで設定できます。

単価設定した部門の操作例は、42ページを参照してください。

割引率を % に設定する

操作例

設定キー	割引率
<input type="button" value="5"/> <input style="display: inline-block; width: 20px; height: 15px; vertical-align: middle;" type="button" value="%"/>	5%



手順

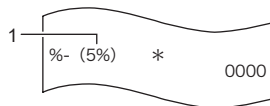
操作

印字例

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 設定する割引率を入力して、 を押します。

3 を押します。



1: 割引率

ポイント 割引率は0.01%～99.99%まで設定できます。小数点の位置では を押します。

割引きの操作例は、44ページを参照してください。

課税方式の設定

非課税／複数税率を混在して設定する

取り扱い商品に「非課税」「複数税率」が混在しているお店は、各キーにそれぞれの課税方式を設定します。事前に、どのキーにどの課税方式を設定するか決めてください。

操作例

課税方式（指定キー）	設定キー
非課税の設定（ #/替 ）	÷ 4
税2内税の設定（ 券 ）	+ 1 、 - 2



手順	操作	印字例
----	----	-----

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 設定コードを入力して **1** **小計** **小計** を押します。

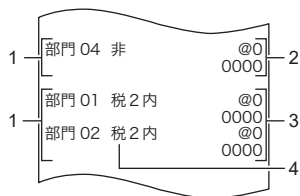
非課税の設定

3 **#/替** を押して非課税に設定するキーを押します。

税2内税の設定

4 **券** を押して税2内税に設定するキーを押します。

5 **小計** を押します。



1: 部門キー 2: 非課税
 3: 税2外税 4: 課税方式



通常の設定では「税1」のみ使用します。複数税率に対応するときは「税1」と「税2」の両方を設定してください。

税種		設定時に押すキー
税1	内税	入金
	外税	出金
税2 (軽減税率用)	内税	券
	外税	訂正
非課税		#/替



- ・インボイス対応時は内税または外税のどちらかに統一して使っていただく必要があります。また、総額表示やたばこの登録（必ず内税）などを考慮すると内税で使用することを推奨します。
- ・値引きは、各商品の消費税（課税対象額と税額）に反映する必要がありますので、値引き（**-**）の設定を非課税にして使用することは推奨しません。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

課税方式の設定

課税方式を一括設定する

すべての商品の課税方式を一括で変更します。



手順

操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 設定コードを入力して **小計** を押します。

1 1 3 0 0 **小計**

3 設定する課税方式のキー(**0** ~ **3** のいずれか)を押します。

税1内税を設定する

0

税1外税を設定する

1

税2内税(軽減税率用)を設定する

2

税2外税(軽減税率用)を設定する

3

4 **現/預** を押します。

現/預

ポイント 各キー(「部門01」**1**) ~ 「部門04」**4**)、**(%)**の課税設定を一括して変更します。

すべての商品を非課税扱いにする(非課税レジスター)

すべての商品を非課税扱いにする設定をします。この設定をしたレジスターを「非課税レジスター」といいます。



手順

操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 設定コードを入力して **小計** を押します。

3 **小計**

3 **9 9 9 9** **小計** を押します。

9 9 9 9 **小計**

ポイント ・非課税レジスターを解除するときは、**9 9 9 9** を **8 8 8 8** にしてください。
・各キーの課税設定は、**8 8 8 8** の入力での元の課税設定に戻ります。



注意

- ・「非課税レジスター」の設定時は、キーに個別設定をしても非課税として処理されます。非課税以外で使用するときは、「非課税レジスター」を解除してください。
- ・非課税レジスターのとき、下記のシンボルや項目は印字しません。
課税シンボル(内、外、非) / 「登録」「戻」での課税対象額、税額 / 「点検」「精算」での税率、課税対象額、税額、非課税額合計 / 「設定」(設定点検)での税関連の設定内容

消費税率の設定

ご購入時は、「税1内税」「税1外税」が税率10%、「税2内税」「税2外税」が税率8%に設定されています。

	税率初期設定	部門の課税方式初期設定
税1内税	10%	部門1～4 (税1内税)
税1外税		—
税2内税	8%	—
税2外税		—
非課税	—	—

現在の税率を確認する

「設定内容を確認する」(83ページ)を参照してください。

すぐに税率を変更する



手順

操作

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 設定コードを入力して **小計** を押します。 **1 1 2 0 0** **小計**
- 3 「税1」の税率(A)を入力して、**現/預** を押します。 **A** **現/預**
(Aを入力せずに **現/預** だけを押すと、既存の設定のままです。)
- 4 「税2」の税率(B)を入力して、**現/預** を押します。 **B** **現/預**
(「税2」を変更しないときは、**小計** を押します。)

設定項目	税種	
税率 (A)	税1	内税
		外税
税率 (B)	税2 (軽減税率用)	内税
		外税

「税1内税」と「税1外税」を0%に変更するときは、手順**3**のA **現/預**を**0** **現/預**と入力します。「税2内税」と「税2外税」を0%に変更するときは、手順**4**のB **現/預**を**0** **現/預**と入力します。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

消費税率の設定

税率改定の予約機能を設定する

税率改定当日に、自動で新しい税率に変更するよう事前に予約できます。この機能を使うと、設定日の午前0時以降モードスイッチをいったんOFFにすると、設定された税率に変更します。



手順

操作

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 設定コードを入力して **小計** を押します。 **1 1 1 0 0** **小計**
- 3 改定年月日を入力して **現/預** を押します。
YYには西暦下2桁、MMには月(01～12)、DDには日(01～31)の、必ず各2桁・合わせて6桁の数字を入力してください。
(年月日を入力せずに **現/預** だけを押すと、既存の設定のままです。)
- 4 「税1」の税率(A)を入力して、**現/預** を押します。 **A** **現/預**
(Aを入力せずに **現/預** だけを押すと、既存の設定のままです。)
- 5 「税2」の税率(B)を入力して、**現/預** を押します。 **B** **現/預**
(「税2」を変更しないときは、**小計** を押します。)



変更日になっても税率が変更されないときは、モードスイッチを一度OFFにしてください。

税率改定の予約機能を無効にする

設定した税率改定の予約の内容を無効にします。



手順

操作

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 設定コードを入力して **小計** を押します。 **1 1 1 0 0** **小計**
- 3 改定年月日をクリア(**0**)して **現/預** を押します。 **0** **現/預**

消費税率の設定

複数税率への対応

「一般の消費税率」と「軽減税率（食料品の税率を小さくするなど）」2種類の税率が併用されることを、「複数税率」と呼びます。本機では複数税率に対応するため、「消費税率1」と「消費税率2」の2種類の税率を設定できます。

「税1」の内税は 、外税は を押したあと該当する部門とキーを設定します。

「税2」の内税は 、外税は を押したあと該当する部門とキーを設定します。

設定の詳細は、「課税方式の設定」（55ページ）を参照してください。

税種		設定時に押すキー
税1	内税	
	外税	
税2 (軽減税率用)	内税	
	外税	

課税方式の予約機能を設定する

税率改定当日に、自動で課税方式を変更するよう予約できます。予約項目設定とセットで設定します。

操作例

部門3を「税1内税」から「税2内税」、部門4を「税1内税」から「税2外税」に変更するよう予約を設定します。



手順

操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 設定コードを入力して を押します。

3 課税方式キー を押して部門3 を押します。

課税方式キー を押して部門4 を押します。

4 を押します。

税種		設定時に押すキー
税1	内税	
	外税	
税2 (軽減税率用)	内税	
	外税	



予約を実行するときは「税予約項目の設定」（60ページ）で課税方式の予約を有効にしてください。本設定と合わせて設定が必要です。

消費税率の設定

単価の予約機能を設定する

税率改定当日に、自動で商品の単価を変更するよう予約できます。予約項目設定とセットで設定します。

操作例

部門	単価
部門2	810



手順

操作

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 設定コードを入力して **小計** を押します。 **1 1 8 0 0** **小計**
- 3 設定する単価を入力して、部門2 **-2** を押します。 **8 1 0 - 2**
- 4 **小計** を押します。 **小計**



予約を実行するときは「税予約項目の設定」(60ページ)で単価の予約を有効にしてください。本設定と合わせて設定が必要です。

税予約項目の設定

税予約機能を実行する設定をします。単価と課税方式の予約を有効にするには、設定を変更します。

操作例

項目	設定内容
税率改定の予約	変更する
単価の予約	変更しない
課税方式の予約	変更する



手順

操作

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 設定コードを入力して **小計** を押します。 **1 1 9 0 0** **小計**
- 3 **2** を入力して **現/預** を押します。 **2** **現/預**



番号	税率改定の予約	単価の予約	課税方式の予約
0	変更する	変更しない	変更しない
1	変更する	変更する	変更しない
2	変更する	変更しない	変更する
3	変更する	変更する	変更する

が、ご購入時の設定です。



税率改定の予約機能、課税方式の予約機能、単価の予約機能と合わせて設定が必要です。

税シンボルの設定

税 1 内税シンボル「内」・税 1 外税シンボル「外」を印字する

操作例

「税 1 内税シンボルを印字する」と設定します。

手順

操作

印字例



- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 設定コードを入力して **10700** 小計 小計 を押します。
- 3 **00** を入力して 現/預 を **00** 現/預 押します。



1: 設定数値

番号	税 1 内税シンボルを	税 1 外税シンボルを
00	印字する	印字する
01	印字する	印字しない
10	印字しない	印字する
11	印字しない	印字しない

が、ご購入時の設定です。



設定できるのは税 1 のシンボルのみです。税 2 の設定は、「消費税関連の印字/非印字を設定する」(75 ページ) を参照してください。

非課税シンボル「非」を印字しない

操作例

「非課税シンボルを印字しない」、「非課税合計を印字しない」と設定します。

手順

操作

印字例



- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 設定コードを入力して **10300** 小計 小計 を押します。
- 3 **11** を入力して 現/預 を **11** 現/預 押します。



1: 設定数値

番号	非課税シンボルを	非課税合計を
00	印字する	印字する
01	印字する	印字しない
10	印字しない	印字する
11	印字しない	印字しない

が、ご購入時の設定です。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

レシート／ジャーナルの切り替え・印字の設定

レシート／ジャーナルを切り替える

操作例

ジャーナルとして使用する設定にします。



手順	操作	印字例
1	モードスイッチの位置を「設定」にします。	
2	0 を入力して [券] を押し 0 [券] を押します。	

ご購入時はレシートとして使用する設定です。



- ・レシートとして使用する設定にするときは、手順2の0 [券] を1 [券] にしてください。
- ・ジャーナルとして使用する設定にしたときは、ロールペーパーの取り付け方法を変更してください (86 ページ)。

レシート (ジャーナル) に時刻を印字しない

操作例

時刻印字しない設定にします。



手順	操作	印字例
1	モードスイッチの位置を「設定」にします。	
2	設定コードを入力して 1 0 1 0 0 [小計] [小計] を押します。	
3	1 を入力して [現/預] を押し 1 [現/預] を押します。	

ご購入時は時刻を印字する設定です。



- ・時刻を印字する設定にするときは、手順3の1 [現/預] を0 [現/預] にしてください。

Bluetooth

無料のスマートフォン用アプリ“CASIO ECR+”を使うとレジの設定や売上確認がとても簡単にできます。“CASIO ECR+”を利用するには、レジとスマートフォンを以下の手順で設定してください。

レジと接続するスマートフォンで右記のQRコードを読み込む、または下記URLから“CASIO ECR+”をインストールします。

<https://web.casio.com/ecr/app/>



ご使用前に

Bluetooth ペアリング（接続）設定



手順

操作と印字例

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 設定コードを入力して **小計** を押します。

1 2 0 0 0 0 **小計**

3 レジとスマートフォンをペアリング（接続）します。スマートフォンはレジスターの近く（約1m以内を推奨）で操作してください。

右記が印字されたら、“CASIO ECR+”がインストール済みのスマートフォンのBluetooth設定をONにします。

※ Bluetooth の設定方法はスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。



4 スマートフォンで接続するレジの機器名を検索します。検索方法は、AndroidとiPhoneで操作が異なります。機器名はレジスターにより異なります。実際の印字内容をご覧ください。

<Androidをお使いの方>

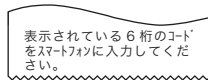
スマートフォンのBluetooth設定をONにすると画面に表示されている機器名「EY123456789012（例）」をタップして選択します。

<iPhoneをお使いの方>

スマートフォンにインストールした“CASIO ECR+”を起動します。起動すると最初に対象レジを検索します。機器名「EY123456789012（例）」をタップして選択します。

5 スマートフォンでレジの機器名をタップして選択すると、レジはパスキーを表示します。表示されたパスキー「123456（例）」をスマートフォンへ入力します。パスキーはレジにより異なります。実際の画面をご覧ください。

ペアリングが完了するとレジの印字内容と音でお知らせします。



123456

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

Bluetooth

ペアリングができないときはレジの印字内容を確認してください。ペアリングに失敗したことが印字されているときは、手順 **1** から操作をやり直してください。

ペアリングに失敗しました。
最初からやり直してください。

6 レジの設定は以上で終了です。引き続きスマートフォンの“CASIO ECR+”を設定してください。

<Android をお使いの方>

スマートフォンにインストールした“CASIO ECR+”を起動して設定してください。

<iPhone をお使いの方>

継続して設定してください。

Bluetooth ペアリング解除設定



手順

操作

印字例

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 設定コードを入力して **1 2 0 0 1** 小計
小計 を押します。

すべてのスマートフォンとの
ペアリングを解除します。
開始しますか？
キャンセル<小計> はい<現/預>

3 現/預 を押すとペアリング 現/預
を解除します。

ペアリングを解除しました。

Bluetooth を使う設定にする

操作例

Bluetooth を使ってスマートフォンと連動する設定にします。



手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

3 小計 **3 3 2 2** 小計 **1** 現/預 小計

Bluetooth を使わない	0
Bluetooth を使う	1

が、ご購入時の設定です。

商品名の設定

部門キーに商品分類名を設定する

部門キーに設定されている「部門01」～「部門04」の名称を商品分類名に設定できます。商品分類名は下記の商品分類名一覧から選択して設定します。

操作例

部門01 に「食料品」、部門02 に「野菜」、部門03 に「菓子」を設定します。



手順

操作

印字例

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 を入力して を押し します。
- 3 (食料品) を入力し て を押します。
- 4 (野菜) を入力して を押します。
- 5 (菓子) を入力して を押します。
- 6 を押します。

食料品 税1内	@100
	0000
1-野菜 税1内	@200
	0000
菓子 税1内	@300
	0000

1: 商品分類名



インボイス対応では取引内容を具体的に示す必要がありますので、必ず部門キーに商品分類名を設定してください。

商品分類名一覧

コード	商品分類名	コード	商品分類名	コード	商品分類名	コード	商品分類名
01	食料品	11	テイクアウト	21	家庭用機器	31	レジャー
02	生鮮	12	喫茶	22	日用品	32	教育
03	精肉	13	飲料	23	サービス料	33	外食
04	鮮魚	14	アルコール	24	雑貨	34	宿泊
05	野菜	15	たばこ	25	医薬品	35	その他
06	果物	16	衣料品	26	医療費	36	保険等
07	パン	17	履物	27	交通	37	装飾品
08	弁当	18	住居	28	通信	38	化粧品
09	菓子	19	ライフライン	29	娯楽・文化	39	理容・美容
10	お食事	20	家具	30	書籍	40	お花

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

ロゴメッセージの設定




レシートにロゴメッセージを設定する

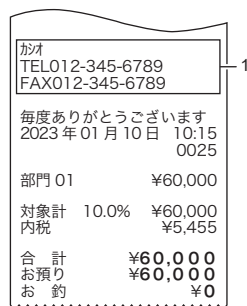
印字できる文字について

本機はレシート頭のロゴメッセージ部分に、任意の文字を印字することができます。印字できる文字は、「半角カタカナ」「半角英字」「数字」と一部の記号です。最大で1行24文字、5行の文字が印字できます。(ひらがなや漢字は印字できません。「半角文字コード表」(70ページ)の文字のみです。)

文字入力の方法

印字したい文字を1文字ずつ設定します。「半角文字コード表」を参照して3桁の数値と  を入力してください。

- ・ 空白(スペース)は「半角文字コード(032)」と  を入力します。その行の後半がすべて空白(スペース)の場合は省略できます。
- ・ 1文字を取り消す場合は、数値を入力していない状態で  を入力します。
- ・ 横倍文字にする場合は、文字コード入力前に1文字ごとに  を入力します。



1: ロゴメッセージ

操作例

『__かお』(説明のため__は空白(スペース)を示しています)を1行目に設定します。

手順



1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

操作

2 小計 1 券

ロゴメッセージ1行目指定

032・ 032・ 182・ 188・ 181・  1行目入力終了

印字例



1: ロゴメッセージ

表示例



1: 入力桁を表示



2: 入力中の文字コードを表示

ご購入時の設定から任意のロゴメッセージをレシートに印字するには、「レシート/ジャーナルを切り替える」(62ページ)、「レシートにロゴメッセージを設定する」(66ページ)、「レシートにロゴメッセージを印字する」(72ページ)の設定を変更してください。69、70ページのロゴメッセージ入力表と半角文字コード表を使って、ロゴメッセージの文字を設定してください。ご購入時の設定は空白です。

ロゴメッセージの設定

設定例

1 行目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
文字コード→	(空白)	(空白)	(空白)	(空白)	(空白)	(空白)	(空白)	カ	ッ	オ	(空白)	ッ
	0 3 2	0 3 2	0 3 2	0 3 2	0 3 2	0 3 2	0 3 2	1 8 2	1 8 8	1 8 1	0 3 2	1 8 8
	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
文字コード→	ヨ	ウ	テ	ソ								
	1 7 4	1 7 9	1 9 5	2 2 1								
	6	7	8	9								
文字コード→	0 0 6	0 0 7	0 0 8	0 0 9								
2 行目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
文字コード→	T	E	L	:	0	1	2	-	3	4	5	-
	0 8 4	0 6 9	0 7 6	0 5 8	0 0 0	0 0 1	0 0 2	0 4 5	0 0 3	0 0 4	0 0 5	0 4 5
	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
文字コード→	6	7	8	9								
	0 0 6	0 0 7	0 0 8	0 0 9								
3 行目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
文字コード→	F	A	X	:	0	1	2	-	3	4	5	-
	0 7 0	0 6 5	0 8 8	0 5 8	0 0 0	0 0 1	0 0 2	0 4 5	0 0 3	0 0 4	0 0 5	0 4 5
	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
文字コード→	6	7	8	9								
	0 0 6	0 0 7	0 0 8	0 0 9								
4 行目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
文字コード→												
	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
文字コード→												
5 行目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
文字コード→												
	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
文字コード→												

操作例

設定例のロゴメッセージを設定します。

手順



1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

操作

2 小計 **1** 券

ロゴメッセージ1行目指定

0 3 2	0 3 2	0 3 2	0 3 2	0 3 2	0 3 2
空白	空白	空白	空白	空白	空白
0 3 2	1 8 2	1 8 8	1 8 1	0 3 2	1 8 8
空白	カ	ッ	オ	空白	ッ
1 7 4	1 7 9	1 9 5	2 2 1	現/預	
ヨ	ウ	テ	ソ		1行目入力終了

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

ロゴメッセージの設定

操作

2 小計 2 券

ロゴメッセージ2行目指定

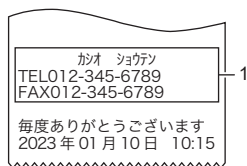
084	069	076	058	000	001
T	E	L	:	0	1
002	045	003	004	005	045
2	-	3	4	5	-
006	007	008	009	現/預	
6	7	8	9	2行目入力終了	

2 小計 3 券

ロゴメッセージ3行目指定

070	065	088	058	000	001
F	A	X	:	0	1
002	045	003	004	005	045
2	-	3	4	5	-
006	007	008	009	現/預	
6	7	8	9	3行目入力終了	

印字例



1: ロゴメッセージ

この設定例はロゴメッセージの4行目と5行目を使用しない例です。1～3行目と同様に4行目と5行目を設定すると印字は可能です。

ロゴメッセージの設定

下記のロゴメッセージ入力表に印字する文字と文字コードを記入し、見ながら設定すると便利です。

- ① 1行目～5行目に、印字する文字を1行24文字以内で記入します。
- ② 文字コード欄に、該当する文字の文字コードを次ページの半角文字コード表から記入します。実際の操作時は文字コードのあとに **■** を入力します。

ロゴメッセージ入力表



- 1: ロゴメッセージ
- 2: ロゴメッセージ：1行目
- 3: ロゴメッセージ：2行目
- 4: ロゴメッセージ：3行目
- 5: ロゴメッセージ：4行目
- 6: ロゴメッセージ：5行目

	1行目		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	①													
②	文字コードA→													
	①		13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
②	文字コードA→													
	2行目		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	①													
②	文字コードB→													
	①		13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
②	文字コードB→													
	3行目		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	①													
②	文字コードC→													
	①		13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
②	文字コードC→													
	4行目		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	①													
②	文字コードD→													
	①		13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
②	文字コードD→													
	5行目		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	①													
②	文字コードE→													
	①		13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
②	文字コードE→													

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

ロゴメッセージの設定

半角文字コード表

文字コード	文字	文字コード	文字	文字コード	文字	文字コード	文字	文字コード	文字
000	0	064	@	096	`	162	「	194	ッ
001	1	065	A	097	a	163	」	195	テ
002	2	066	B	098	b	164	、	196	ト
003	3	067	C	099	c	165	・	197	ナ
004	4	068	D	100	d	166	ヲ	198	ニ
005	5	069	E	101	e	167	ア	199	ヌ
006	6	070	F	102	f	168	イ	200	ネ
007	7	071	G	103	g	169	ウ	201	ノ
008	8	072	H	104	h	170	エ	202	ハ
009	9	073	I	105	i	171	オ	203	ヒ
032	空白	074	J	106	j	172	ヤ	204	フ
033	!	075	K	107	k	173	ユ	205	ハ
034	"	076	L	108	l	174	ヨ	206	ホ
035	#	077	M	109	m	175	ツ	207	マ
036	\$	078	N	110	n	176	-	208	ミ
037	%	079	O	111	o	177	ア	209	ム
038	&	080	P	112	p	178	イ	210	メ
039	'	081	Q	113	q	179	ウ	211	モ
040	(082	R	114	r	180	エ	212	ヤ
041)	083	S	115	s	181	オ	213	ユ
042	*	084	T	116	t	182	カ	214	ヨ
043	+	085	U	117	u	183	キ	215	ラ
044	,	086	V	118	v	184	ク	216	リ
045	-	087	W	119	w	185	ケ	217	ル
046	.	088	X	120	x	186	コ	218	レ
047	/	089	Y	121	y	187	サ	219	ロ
058	:	090	Z	122	z	188	シ	220	ワ
059	;	091	[123	{	189	ス	221	ソ
060	<	092	¥	124		190	セ	222	ヴ
061	=	093]	125	}	191	ソ	223	。
062	>	094	^	126	~	192	タ		
063	?	095	_	161	。	193	チ		

ロゴメッセージの設定


操作例

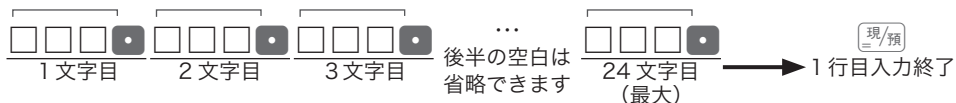
手順




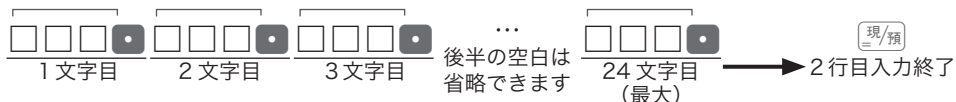
1 モードスイッチの位置を「設定」にします。


操作

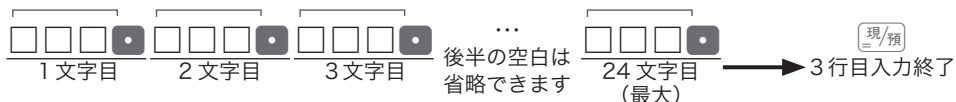
2 小計 **1** 券
ロゴメッセージ1行目指定
記入した文字コードAと  を入力します




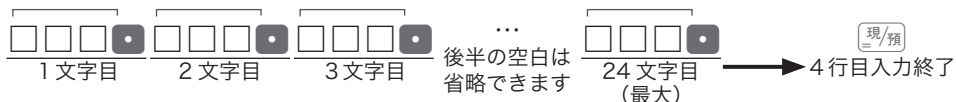
2 小計 **2** 券
ロゴメッセージ2行目指定
記入した文字コードBと  を入力します




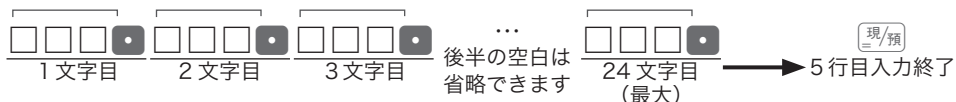
2 小計 **3** 券
ロゴメッセージ3行目指定
記入した文字コードCと  を入力します



2 小計 **4** 券
ロゴメッセージ4行目指定
記入した文字コードDと  を入力します



2 小計 **5** 券
ロゴメッセージ5行目指定
記入した文字コードEと  を入力します



ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

ロゴメッセージの設定

レシートにロゴメッセージを印字する

レシートの頭の部分に「御計算書」、「控え」や「明細」などのロゴメッセージを印字できます。ご購入時の設定ではロゴメッセージは印字されず、空白になります。

操作例

設定したロゴメッセージを印字します。



手順と操作

印字例

ロゴメッセージサンプル

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 設定コードを入力して **小計** を押します。

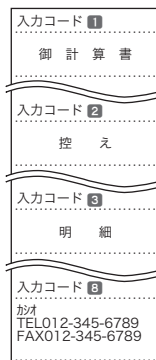
10600 **小計**

3 **8** を入力して **現/預** を押します。

8 **現/預**



1: 設定数値



- ・「レシートにロゴメッセージを設定する」(66 ページ) で任意の文字を設定できます。
- ・「ロゴメッセージを印字しない(5行分紙送りします)」の設定は **0** を入力してください。
- ・この設定は、印字がレシートとして使用する場合のみ有効です。

レシートメッセージを印字しない

ご購入時の設定では、レシートメッセージ「毎度ありがとうございます」を印字します。これを印字しない設定にします。

操作例

「毎度ありがとうございます」を印字しない設定にします。



手順と操作

印字例

レシートメッセージサンプル

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 設定コードを入力して **小計** を押します。

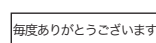
10400 **小計**

3 **1** を入力して **現/預** を押します。

1 **現/預**



1: 設定数値



- ・「レシートメッセージを印字する」設定にするときは、**1** **現/預** を **0** **現/預** にしてください。
- ・この設定は、印字がレシートとして使用する場合のみ有効です。

事業者登録番号の設定

インボイス制度（適格請求書等保存方式）で、課税事業者の登録番号を印字する際に使用します。



注意 インボイス制度の登録申請をして、取得した登録番号を設定してください。

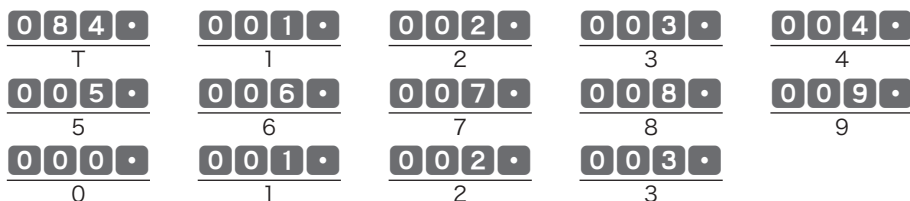
手順と操作

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 設定コードを入力して **#/替** を押します。

2 小計 **#/替**

3 事業者登録番号を入力します。（入力例：T123456790123）



4 **現/預** を押します。

現/預

注意

- 最大16桁設定できます。インボイス制度の具体的な内容は、国税庁など政府のご案内を参照してください。
- 「ジャーナル/レシートの切り替えと印字制御を設定する」(76ページ)で、事業者登録番号を印字する設定にしてください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

その他の設定

本機をより便利に使いこなすための設定方法について説明します。ご利用するお店のニーズに合わせて、必要に応じて設定してください。手順に記載している数字キーの見方は以下のとおりです。

例： …… **0** **1** **0** **1** ……



内税の端数処理

0：円未満 四捨五入（ご購入時の設定）

1：円未満 切捨て

2：円未満 切上げ

上記の例では、**0**を入力して内税の端数を「円未満 四捨五入」設定にします。内税の端数を「円未満 切捨て」にするときは、**1**を入力してください。

消費税額の円未満の端数処理を設定する

操作例

消費税額の円未満の端数を、「切捨て」にします。



手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

3 小計 2 2 6 小計

	税1 内	税1 外	税2 内	税2 外	現/預	小計
税1 / 内税の端数処理	1	1	1	1		
円未満 四捨五入	0					
円未満 切捨て	1					
円未満 切上げ	2					
税1 / 外税の端数処理		0				
円未満 四捨五入		0				
円未満 切捨て		1				
円未満 切上げ		2				
税2 / 内税の端数処理			0			
円未満 四捨五入			0			
円未満 切捨て			1			
円未満 切上げ			2			
税2 / 外税の端数処理				0		
円未満 四捨五入				0		
円未満 切捨て				1		
円未満 切上げ				2		

↑ ↑ ↑ ↑

が、ご購入時の設定です。

その他の設定

消費税関連の印字／非印字を設定する

操作例

消費税関連の印字を、税率・内税対象額・内税額・非課税合計を印字しない、消費税のシンボル(内・外・非)を印字します。



手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

3 小計
3 2 6 小計
1 7 0
0 現/預 小計

軽減税率メッセージ/非課税合計

軽減税率メッセージ	非課税合計の印字／非印字	
印字する	非課税合計を印字する	0
印字する	非課税合計を印字しない	1
印字しない	非課税合計を印字する	4
印字しない	非課税合計を印字しない	5

税率／課税対象額／税額

税率	課税対象額	内税額	
印字する	印字する	印字する	0
印字しない	印字する	印字する	4
印字しない	印字しない	印字する	5
印字しない	印字しない	印字しない	7

消費税のシンボル

税1／内税「内」シンボル	税1／外税「外」シンボル	税2／内税「※」シンボル	
印字する	印字する	印字する	0
印字する	印字する	印字しない	4
印字する	印字しない	印字する	2
印字する	印字しない	印字しない	6
印字しない	印字する	印字する	1
印字しない	印字する	印字しない	5
印字しない	印字しない	印字する	3
印字しない	印字しない	印字しない	7

消費税のシンボル

税2／外税「※」シンボル	非課税「非」シンボル	
印字する	印字する	0
印字する	印字しない	4
印字しない	印字する	1
印字しない	印字しない	5

複数税率については、「複数税率への対応」(59ページ)を参照してください。

が、ご購入時の設定です。



ポイント 税関連の項目をすべて「印字する」ときは **0000** を入力してください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

その他の設定

ジャーナル/レシートの切り替えと印字制御を設定する

操作例

レシートロゴを設定したロゴメッセージに、事業者登録番号を印字する設定にします。



手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

3 小計 5 2 2 小計 1 8 2 0 現/預 小計

ジャーナルとレシートの切り替え/
レシートメッセージの印字

印字は?	レシートメッセージ	
ジャーナル	-	0
レシート	印字する	1
レシート	印字しない	5

レシートロゴの印字

内容	
印字しない	0
御計算書	1
控え	2
明細	3
ロゴメッセージ	8

時刻/事業者登録番号/ジャーナルの印字

時刻	事業者登録番号	ジャーナル	
印字する	印字しない	通常印字	0
印字する	印字しない	圧縮印字	1
印字する	印字する	通常印字	2
印字する	印字する	圧縮印字	3
印字しない	印字しない	通常印字	4
印字しない	印字しない	圧縮印字	5
印字しない	印字する	通常印字	6
印字しない	印字する	圧縮印字	7

一連番号/小計の印字/
ジャーナルスキップ

一連番号	小計 キー	ジャーナルスキップ
0	印字する	印字しない しない
1	印字しない	印字しない しない
2	印字する	印字する しない
3	印字しない	印字する しない
4	印字する	印字しない する
5	印字しない	印字しない する
6	印字する	印字する する
7	印字しない	印字する する

が、ご購入時の設定です。



- ・ジャーナルとして使用する設定にしたときは、ロールペーパーの取り付け方法を変更してください (86 ページ)。
- ・レシートメッセージは、「毎度ありがとうございます」です。
- ・ロゴメッセージは、印字がレシートとして使用する場合のみ有効です。

その他の設定

一連番号／単品値引きなどを設定する

操作例

前のレシートから引き続いた一連番号を印字します。

手順



1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

3 小計 6 2 2 小計 2 0 0 現/預 小計

レシート発行中のキー操作／日計明細精算後の一連番号／マイナスの合計

00 の仕様の選択／単品値引き

レシート発行中のキー操作	日計明細精算後の一連番号	マイナスの合計	
受け付ける	1 から始める	許さない	0
受け付けない	1 から始める	許さない	1
受け付ける	前のを引き継ぐ	許さない	2
受け付けない	前のを引き継ぐ	許さない	3
受け付ける	1 から始める	許す	4
受け付けない	1 から始める	許す	5
受け付ける	前のを引き継ぐ	許す	6
受け付けない	前のを引き継ぐ	許す	7

	00	単品値引き
0	00 として使用する	単品値引き不可
1	スリーゼロとして使用する	単品値引き不可
4	00 として使用する	単品値引き可
5	スリーゼロとして使用する	単品値引き可

が、ご購入時の設定です。



日計明細の精算後の一連番号を0にすると毎日「0001」から始まり、2にすると精算後も前のレシートから引き続いた一連番号が印字されます。

5円丸め／10円丸めを設定する

操作例

10円丸めを設定します。

手順

操作



1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 設定する丸め金額を入力して、**−**を押します。

1 0 −

3 **小計**を押します。

小計



- 手順2の丸め金額を“10”にすると「10円丸め」、「5」にすると「5円丸め」です。丸め金額を“0”にすると丸めになりません。
- ご購入時の設定は“0”です。
- 「10円丸め」は「1～9円→0円」に、「5円丸め」は「1～4円→0円／6～9円→5円」に丸めます。丸めた差額が自動値引きされ、レシートに「サービス金額」として印字されます。差額がないときは、「サービス金額」の印字をスキップします。



丸めのマイナス金額は消費税の対象額に反映されませんので、インボイス対応時は、10円丸め・5円丸めの機能を使用しないことを推奨します。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

その他の設定

点検／精算レポートの印字制御を設定する

操作例

日計点検／精算レポート上の0の合計を印字します。



手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

3 小計 8 2 2 小計 0 0 0 1 現/預 小計

電子ジャーナルの印字

精算時に	
電子ジャーナルを印字する	0
電子ジャーナルを印字しない	1

戻し合計／在売点検の印字

日計明細レポート上に	在売点検でレポートを
戻し合計を印字する	印字する
戻し合計を印字しない	印字する
戻し合計を印字する	印字しない(表示のみ)※
戻し合計を印字しない	印字しない(表示のみ)※

点検精算レポート／累計 (GT)

点検精算レポート	累計 (GT)
0の合計を印字しない	印字しない
0の合計を印字する	印字しない
0の合計を印字しない	印字する
0の合計を印字する	印字する

が、ご購入時の設定です。

※はエコモードです。「現時点での売上合計と現金在高を確認する」(48ページ)を参照してください。

その他の設定

電卓モードの機能を設定する

操作例

電卓モード中、**#/替**と**現/預**を押してもドローアが開かないようにします。



手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

3 小計 1 0 2 2 小計 7 現/預 小計

電卓モードでの機能

現/預	でドローアを	#/替	でドローアを	現/預	を押した回数を	
	開ける		開ける		印字しない	0
	開けない		開ける		印字しない	1
	開ける		開けない		印字しない	2
	開けない		開けない		印字しない	3
	開ける		開ける		印字する	4
	開けない		開ける		印字する	5
	開ける		開けない		印字する	6
	開けない		開けない		印字する	7

が、ご購入時の設定です。

%計算の端数処理を設定する / % を割増しに変更する

操作例

割引き計算の円未満を「切上げ」に、% を割増しにします。



手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

3 小計 2 1 % 小計

% 計算の円未満の端数処理

円未満 四捨五入	0
円未満 切捨て	1
円未満 切上げ	2

%	
割引きにする	0
% を割増しにする	1

が、ご購入時の設定です。

割引き計算の詳細については、44 ページを参照してください。

その他の設定

部門に単品現金売りを設定する

操作例

部門 $\div 4$ に「単品現金売り」を設定します。

手順



1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

3 小計 1 8 6 6 小計 1 $\div 4$ 小計

通常部門	0
単品現金売りにする	1

が、ご購入時の設定です。



入力時にこの部門に登録すると、そのまま取引が完了して「お客様からお預かりした金額を入力して \div 押す」操作を省くことができます。現金による単品売りのような単純な取引の場合、手早く処理できます。

部門に入力桁制限を設定する

操作例

部門 $- 2$ を「3桁以内の登録が可能」に設定します。

手順



1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

3 小計 1 5 6 6 小計 3 $- 2$ 小計

7桁以内の登録が可能	0
1～6桁以内の登録が可能	1～6
設定単価でのみ登録が可能	8、9

が、ご購入時の設定です。



誤登録を防ぐため、桁数制限を設けて制限を越える価格は登録できないようにします。

部門に負単価を設定する

操作例

部門 $\times 3$ を「負単価」に設定します。

手順



1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

3 小計 0 5 6 6 小計 1 $\times 3$ 小計

正単価	0
負単価	1

が、ご購入時の設定です。



負単価を設定すると、この部門に登録する商品はマイナスとして処理されます。インボイス対応時に非課税の部門に負単価を設定することは推奨しません。

故障かなと思ったら

こんなときは

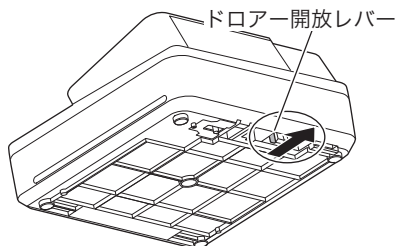
こんなときは	処置	参照ページ
ドローア（引出し）が開かない	硬貨や紙幣がはさまっていませんか？	—
	ドローア鍵がかかっていますか？	11
表示がつかない	電源プラグがコンセントからはずれていませんか？	—
	コンセントまでまちがいなく電気が流れていますか？	—
ジャーナル（レシート）が印字されない	紙づまりしていませんか？	—
	モードスイッチが「電卓」になっていませんか？	50
	ロールペーパーは残っていますか？	85、86
ジャーナルが巻き取られない	ロールペーパーの初めが、ジャーナル巻き取りホルダーにきちんとセットされていますか？	86
	ジャーナル巻き取りホルダーはホルダー受けに確実にセットされていますか？	
	紙づまりしていませんか？	
印字がうすい、または、印字ムラがある	感熱記録紙（サーマル紙）がセットされていますか？	85、86
	ロールペーパーが正しくセットされていますか？	
本体表示窓に“L”が表示される	電池が消耗しています。	84
日付・時刻が消えてしまった	電池をセットしていないか、消耗していませんか？	
本体表示窓に“Mode Err”が表示される	レジ操作中にモードスイッチの位置を変更していませんか？	82
本体表示窓に“No Paper”が表示される	紙押さえが完全には閉じられていません。	18
	用紙が十分にあるか、お確かめください。	
本体表示窓に“Err”が表示される	現在の日付よりも古い税改正予約日を入力していませんか？	58
本体表示窓に“E220”が表示される	スマートフォンと Bluetooth で接続してください。	63
本体表示窓に“E221”が表示される	接続範囲外にある可能性があります。レジの近くで再度実行してください。また、その他の Bluetooth 機器が影響を及ぼしている可能性もありますので確認してください。	63

ドローアが開かなくなったとき

停電や故障などでドローアが開かなくなったときは、ドローア開放レバー（ドローア底面の金具）を矢印の方向に動かすと開きます。



ポイント ドローアロック錠（11 ページ）でロックしていると開きません。ロックを解除してください。



ドローア開放レバーの形状は実物と異なることがあります。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

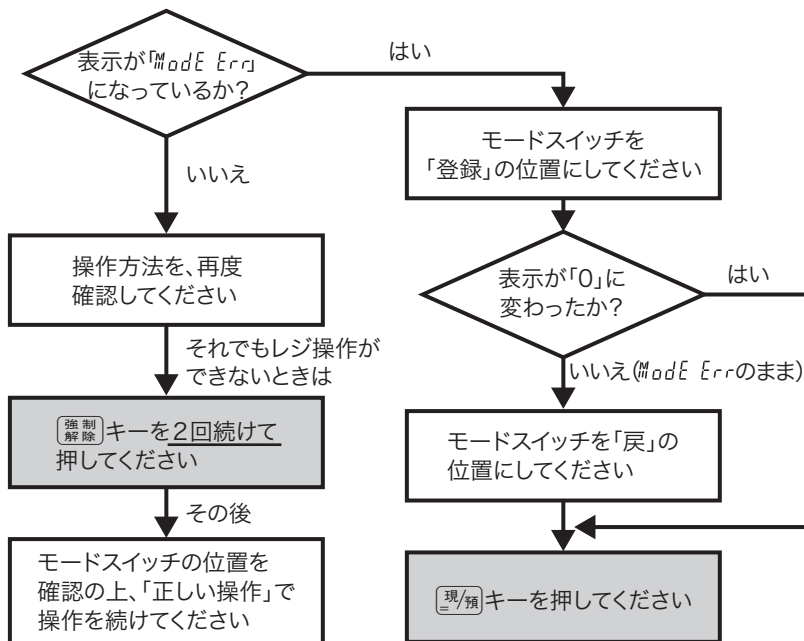
設定の仕方

こんなときは

故障かなと思ったら

正しく動作しないとき

レジ操作中に本機が操作ミスを検出すると、エラー音が“ピーツ”と鳴ります。通常はエラーの自動解除機能によってそのまま操作を続けることができますが、操作ミスの内容によっては操作ができなくなることがあります。このようなときは、以下にしたがって対処してください。



注意

「登録」または「戻」モード中に **強制解除** キーでエラーを解除したときは、《現金》での売上(戻し)として処理されます。これを集計から取り消すときは、「登録」モードの場合は「返品処理」、「戻」モードの場合は「売上登録」してください。

レジ設定内容の確認

設定内容を確認する


現在の設定内容をレシート／ジャーナルに印字して確認できます。



手順

操作





1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
本体表示窓が“P”または“P3”になっていることを確認します。

2  を押します。
レシートまたはジャーナルに現在の設定内容が印字されます。



印字例

2023年01月10日	21:18	1
PGM3	0256	2
部門01 税1内	@100	3
	0000	
部門02 税1内	@200	4
	0000	
-	*	5
%- (12.34%) *		6
	0000	
10100	0	7
10300	00	8
10400	0	9
10500	0	10
10600	0	11
10700	10	12
丸め	00	13
0122	0000	14
0522	1000	15
0622	0000	16
0822	0000	17
1022	0000	18
.....		
現行		19
消費税1 10.0%	内税	20
	四捨五入	
消費税1 10.0%	外税	21
	切捨て	
0326	0010	22
8888 税	23
	01	
カオ ショウテン		
	02	
TEL012-345-6789		24
	05	
THANK YOU!		
登録番号 T1234567890xxx		25

- 1 日付／時刻
- 2 一連番号
- 3 部門  : 単価・課税方式・単品現金売りほか
- 4 部門 
- 5  課税方式
- 6  割引き率課税方式
- 7 簡易設定 (時刻印字)
- 8 簡易設定 (非課税印字)
- 9 簡易設定 (レシートメッセージ)
- 10 簡易設定 (00 キー)
- 11 簡易設定 (ロゴ印字)
- 12 簡易設定 (内税シンボル)
- 13 5円 / 10円丸め合計
- 14 固定数値
- 15 印字制御
- 16 一連番号クリアーほか
- 17 レポート制御
- 18 電卓モード制御
- 19 現在の消費税
- 20 内税 (消費税 1) の税率・端数方式
- 21 外税 (消費税 1) の税率・端数方式
- 22 税関連の印字 / 非印字
- 23 56 ページを参照
- 24 ログメッセージ 1 ~ 5 行
- 25 事業者登録番号

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは



印字例は「レシート」に設定した場合の例です。「ジャーナル」の場合は、点検シンボルや税関連印字などの上下にある1行分の空きスペースがすべてなくなります。

消耗品の交換

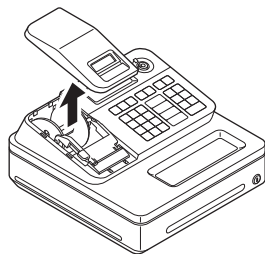
電池を交換する

表示窓の左側に“L”が表示された場合は、電池が寿命です。以下の手順で新しい電池と交換してください。

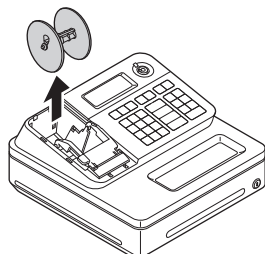


手順

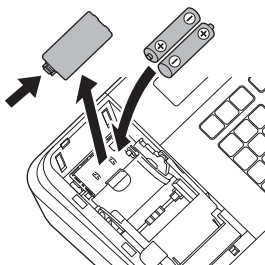
- 1 モードスイッチの位置を「OFF」にしてプリンターカバーを取り外します。



- 2 ジャーナル巻き取りホルダーを取り外します。



- 3 電池ボックスのフタのつまみを、矢印の方向に押し取り外します。単3型アルカリ乾電池2本を＋がイラストと同じになるよう正しくセットします。



- 4 セットと逆の手順で電池ボックスのフタとプリンターカバーを取り付けます。



- ・交換中に電源プラグをコンセントから抜かないでください。
- ・電池は必ずすべて同じ種類の新しい電池をご使用ください。

電池についてのご注意

- 電池を誤使用すると、発熱・破裂・発火・液もれなどの危険があります。
- 長期間使用しないときは、必ず電池を取り出してください。液漏れの原因となります。
- 使用済みの電池を廃棄するときは、必ず地域の条例や自治体の指示に従ってください。
- 乾電池には使用推奨期限があります。この期間に注意を払ってお使いください。

消耗品の交換

ロールペーパーを交換する（レシート）

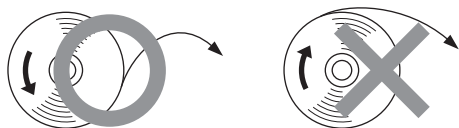
ロールペーパーに赤い線が出たら、残りは約1mです。新しいロールペーパーに交換してください。



手順

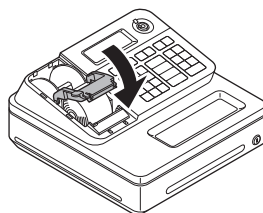
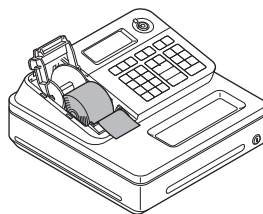
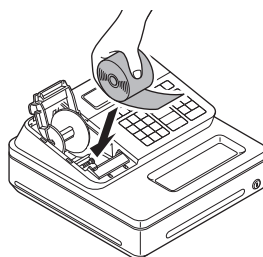
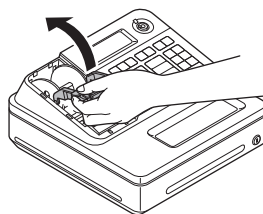
- 1 モードスイッチの位置を「登録」にしてプリンターカバーを取り外します。
- 2 紙押さえに指をかけて持ち上げます。

- 3 ロールペーパーの先端が下から出るように持ち、ペーパー入れの手前側にセットします。



- 4 ロールペーパーの先端をプリンターの上に渡します。

- 5 紙押さえでロールペーパーを挟み、カチッと音がするまで押し込んで閉めます。紙押さえの中心部を押して、左右のロックを確認します。紙押さえから出ているペーパーを切り取ってプリンターカバーを取り付けます。



ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

消耗品の交換

ロールペーパーを交換する（ジャーナル）

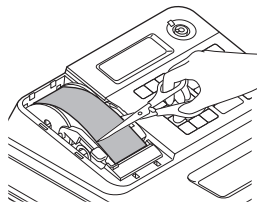
ロールペーパーに赤い線が出たら、残りは約1mです。新しいロールペーパーに交換してください。



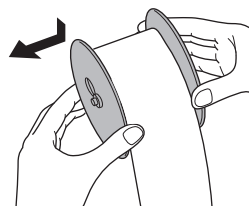
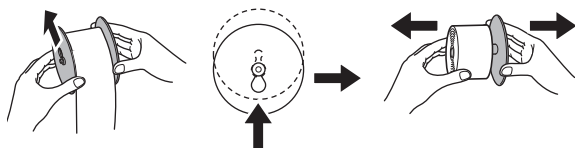
手順

1 モードスイッチの位置を「登録」にしてプリンターカバーを取り外します。

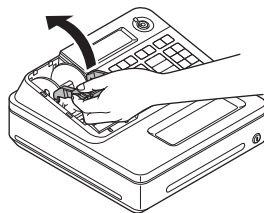
2 紙送り を押してロールペーパーを20cm程度空送りし、印字部分にかからない位置でペーパーを切り取ります。



3 ジャーナル巻き取りホルダーを取り外し、印字済み用紙を外します。矢印の方向に押し、ホルダーの軸押さえを外します。



4 紙押さえを引き上げて、ロールペーパー入れに残っているペーパーの芯を取り除きます。



5 新しいロールペーパーをセットします。

「お使いになる前に」手順 **8** (23 ページ) を参照してください。

仕様

型式	SR-G3-EX (4部門) ストロークキー方式 2キーロールオーバー
表示部	本体表示窓：8桁液晶表示 客用表示窓：8桁液晶表示 (背面固定式)
印字部	1シートサーマルプリンター方式 印字速度 約5行/秒 印字桁数 24桁 記録紙幅 57～58mm、外径80mm以下の感熱記録紙 (消耗品欄参照) 用紙カット レシートで使用の場合、ギザ歯で手動カット 用紙巻き取り ジャーナルで使用の場合、自動巻き取り
最大演算桁数	置数・預かり金 (8桁：0～9,999,999,999) 登録 (7桁：-9,999,999～9,999,999) 合計 (8桁：-9,999,999～99,999,999) リピート (6桁：-999,999～999,999) 番号印字 (8桁：0～99999999) %レート (整数2桁+小数2桁：0.01～99.99%) 税率 (整数2桁+小数4桁：0.0001～99.9999%) 乗算数量 (整数4桁：1～9999)
電卓機能	加減乗除計算 最大計算桁数は置数8桁 答え8桁 (負数のときは7桁)
ドローア	紙幣3種・硬貨6種 ドローアロック錠付 ドローア/本体一体型
時計・日付機能	月差±40秒 (通電状態25℃において) 2099年までフルオートカレンダー
メモリ保護	単3型アルカリ乾電池×2本使用 記憶保持約1年 1年ごとに交換のこと
電源・消費電流	AC100V±10V 50/60Hz 0.17A
周囲温度・湿度	0℃～40℃ 10%～90% RH
外形寸法	幅326mm×奥行345mm×高さ167mm (ドローア含む)
重量	約3.5Kg (ドローア含む)
通信仕様	Bluetooth®4.1 (Low Energy 対応)
オプション	防水カバー：WT-92
消耗品	ロールペーパー：紙幅58mm×外径80mmサーマルペーパー (感熱紙) ノーマルタイプ TRP-5880×5 (5個入り) TRP-5880-TW (20個入り) 高保存タイプ TRP-5880H×5 (5個入り) TRP-5880H-TW (20個入り) 乾電池：単3形アルカリ乾電池 [LR6 (AM3)]

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

本書の著作権およびソフトウェアに関する権利はすべてカシオ計算機株式会社に帰属します。ソフトウェアの正常な使用またはバックアップコピーを作成する場合を除き、カシオ計算機株式会社の書面による同意なしには、本書やプログラムの一部または全部を問わず、複製することを禁じます。本書およびソフトウェアは、将来予告なしに変更することがあります。本書に記載の画面やイラストは、実際の製品とは異なることがあります。キー、アイコンは簡略化して記載しています。

保証規定

本書は、SR-G3-EX（以下「本製品」といいます）に関する保証規定です。

お客様へのお願い

同梱の保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

無償保証規定

万一、本製品を正常な使用状態でご使用中に障害が発生し、製品購入日から1年間（以下「保証期間」といいます）以内に弊社へご連絡を頂いた場合、弊社は修理、調整または代替品との交換（以下「修理等」といいます）を行うことにより、本製品を無償保証いたします。なお、修理等を行った場合であっても、当該本製品（代替品を含みます）は保証期間に限り無償保証いたします。

修理等は、故障の状態等から無償保証の対象であることを確認させて頂いたのち、弊社の裁量においていずれかの対応をいたします。なお、代替品との交換とは同等機種との交換をいい、同一機種との交換を保証するものではありません。

修理等を行った場合は本製品を初期状態にてご返却いたします。本製品に記録されている大切なデータについてはあらかじめジャーナルに印字して保管する等、お客様の責任においてバックアップを取ることをお勧めいたします。

本規定は、日本国内でのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

次の場合は、保証期間内であっても無償保証の対象外となり、修理等に要した費用をお客様へ別途請求いたします。

- ・ 誤ったご使用方法、および不当な取り扱いや改造による故障
- ・ 火災、地震、水害、異常電圧、および盗難などによる損傷や故障
- ・ 移動および輸送によって生じた故障
- ・ 上記のほか、正常な使用状態での使用と認められない故障

本規定に基づく弊社の対応・業務は、カシオテクノ株式会社が担当いたします。


用語集（索引）

本書で使用している用語について、五十音順に記載しています。操作や設定方法の参照ページも記載してありますのでご活用ください。

【あ】

一連番号


レシートの番号です。レシートを発行することにより1ずつプラスされます。

 35、38、39、76、77ページを参照してください。

インボイス（適格請求書等保存方式）


売手が買手に対して、正確な適用税率や消費税額等を伝えるものです。

具体的には、現行の「区分記載請求書」に「登録番号」、「適用税率」及び「消費税額等」の記載が追加された書類やデータをいいます。

 24、25、38、40、55、65、73、77、80ページを参照してください。

オプション


ご使用方法によって、お使いいただくと便利なものを別売で用意しています。それらをオプションと呼んでいます。

 87ページを参照してください。

【か】


現金在高

ドロアーの中にある現金や貸し売り伝票などの合計金額のことです。

 40、48ページを参照してください。

検銭板


預かり金でのトラブルを避けるため、お客様から預かった紙幣を一時的に置くことができます。磁石で検銭板に紙幣を貼り付けることができます。

 16ページを参照してください。

【さ】

ジャーナル

印字で残される営業記録のことです。印字後のジャーナルはレジスター本体内に自動的に巻き取られます。ジャーナル用にロールペーパーのセットが必要です。

 11、23、26、35、62、76、86ページを参照してください。


ジャーナルスキップ

ジャーナル（前出）用紙の消費を少なくするため部門など商品明細の印字をせずに印字することです。

 76ページを参照してください。


出金

商品の売上に直接関係のないお金をドロアーから出すことです。ドロアー内の現金を回収するときなどにお使いください。

 13、46ページを参照してください。


乗算

同じ商品を一度に複数お買い上げの場合、買い上げ個数と単価を入力して（掛け算で）合計金額を算出することです。

 13、33ページを参照してください。


シンボル

表示の状態を示すインジケータやレシート上に印字する略号です。「合計」や「お釣」を表示している状態を示したり、内税の「内」、非課税の「非」などを示します。

 15、61、75ページを参照してください。

精算


業務の終わりに売上金額などをレポートとして発行することです。レジスターの中の売上金額などは（翌日の営業のために）ゼロになります。

 30、39、49、78ページを参照してください。

用語集（索引）

設定


レジスターの機能を選択したり、パーセント率や単価をレジスターに覚えさせることです。

 53～80ページを参照してください。

【た】


単価設定

商品単価をレジスターに覚えさせることです。同じ単価を多く使われるお店では単価設定すると便利です。

 42、54ページを参照してください。


置数

数字打ちです。商品の単価や数量、お客様からの預かり金など数値を入力することです。

 13、36ページを参照してください。


訂正

レジスターに入力した事柄（数字や機能指定）がまちがっていた場合、それを取り消すことです。取消できるときとできないときがあります。

 13、36、37ページを参照してください。


点検

業務の途中に売上金額などをレポートとして発行することです。レジスター内の売上金額はそのまま保存されます。

 30、48ページを参照してください。


電子ジャーナル

ジャーナル（営業記録）を電子的に記憶し、電子ジャーナルの点検／精算で印字できます。レシートで使用中でも電子ジャーナルは残ります。

 39、49ページを参照してください。

登録


レジスターにお買い上げ商品の単価や数量、預かり金などを入力して、レシートを発行するまでの一連の操作のことです。

 32～37、42～47ページを参照してください。

【な】


日計明細

売上金額などのレポートの一種です。その日の合計（日計）を商品分類や取引形態など（明細）に分けて発行します。

 39、48、49ページを参照してください。


入金

商品の売上に直接関係のないお金をドロアー内に入れることです。釣銭準備などをするときにお使いください。

 13、46ページを参照してください。

値引き


赤札などがあった場合に使用します。赤札上の「～円引」の金額が合計金額から引かれます。

 13、43ページを参照してください。

【は】


パーセント計算

割り引き・割増しなど、百分率を使って値引き・値増しする金額を計算する方法です。

 13、44、54ページを参照してください。

番号印字

商品コード、お客様番号や電話番号など、合計金額には関係しない数値を「おぼえ」のために印字することです。

 13、45ページを参照してください。


非課税レジスター

消費税を計算しないレジスターです。お客様から消費税をお預かりしない場合にお使いください。

 56ページを参照してください。

部分累計


長い期間（一週間、旬日、一月など）の売上の合計を知ることができるレポートです。

 48、49ページを参照してください。

用語集（索引）


部門

お店の商品の分類です。例えば、食料品／雑貨品／日用品、鮮魚／精肉／野菜、お食事／飲料などの分類があります。

 13、32～34、36～38、41、42を参照してください。

返品


お客様がお買い上げの商品を返品されたとき、返品処理をしてください。

 38ページを参照してください。

【や】

呼び出し機能


割り勘のためにレシートの合計を電卓モードで使用したり、電卓モードでの計算結果を登録に使ったりする場合に、その数値を持ってくることです。

 52ページを参照してください。

【ら】


リピート

同じ商品を一度に複数お買い上げの場合、その都度商品単価を入力せず、部門キーをお買い上げ個数分押すなどして効率よく登録することです。

 34ページを参照してください。


両替

本来の両替（大きなお金を細かくする）だけでなく、商品取引以外にドロアーを開けるときに両替します。

 13、34ページを参照してください。

レシート


お客様にお渡しする領収書代わりの紙券です。ジャーナル（営業記録）を取る代わりにレシートを発行することができます。

 24、26ページを参照してください。

【わ】


割引き

全品一律10%引きなどに使用します。全品一律でなくても、商品一つだけでも使用できます。「パーセント計算」も合わせてお読みください。

 13、44、54、79ページを参照してください。

割増し

時間外割増しなど、ある率で追加料金などが発生するときに使用します。

 79ページを参照してください。

アフターサービスについて

アフターサービス

アフターサービスのお問い合わせは

お買い上げの販売店またはお客様相談センターにお問い合わせください。カシオ製品のアフターサービス業務は、カシオテクノ株式会社が担当いたします。

消耗品のお申し込み

SR-G3-EXの消耗品 ロールペーパー：紙幅 58mm× 外径 80mm サーマルペーパー（感熱紙）
ノーマルタイプ TRP-5880-TW・TRP-5880×5
高保存タイプ TRP-5880H-TW・TRP-5880H×5
乾電池：単3型アルカリ乾電池 [LR6 (AM-3)]
使用済みの電池を廃棄するときは、必ず地域の条例や自治体の指示に従ってください。

お客様相談窓口

- 製品の機能、操作などに関するご質問に、お電話でお答えいたします。
- 修理の受付、お電話による問診をいたします。また、必要に応じて修理の手配をいたします。

カシオレジスターお客様相談センター



0120-004010

受付時間：月曜日～土曜日 AM9:00～PM5:30（日・祝日・弊社指定休業日は除く）

本製品の使用後の取り扱いについて

「資源有効利用促進法」施行に伴い、カシオ計算機(株)では、地域環境保全と資源有効活用のために、お客様でご使用済みとなりましたパーソナルコンピュータを始めとする情報通信機器の回収・再資源化活動を行っております。お客様からの廃棄処理依頼に対し回収いたしますので、弊社の環境保全活動にご協力いただきますようお願い申し上げます。回収申込方法は、カシオホームページ <https://www.casio.co.jp> でご案内しております。

最新サポート情報

最新サポート情報(Q&A、取扱説明書など)は右記のQRコードを読み込む、または下記URLをご確認ください。

<https://casio.jp/support/ecr/>



店名・住所

販売店（問い合わせ先）を明記しておきましょう



()

担当者

